

MOS-B

ユーザーズマニュアル

2021年12月16日

Rev. 1.12

株式会社ハネロン

目 次

1	適用範囲	1
2	はじめに	1
3	新規ログイン	2
3.1	サーバのURL、ログインメールアドレス、仮パスワードの確認	2
3.2	サーバ(MOS-B)へのアクセス	3
3.3	新規パスワードの登録	3
3.4	プロフィールの登録	5
4	新規端末登録	8
4.1	ログインした時の画面	8
4.2	新規端末登録	8
5	端末一覧画面の操作	15
5.1	端末表示数の変更	15
5.2	画面表示の変更	17
5.3	並べ替え	19
5.4	検索	22
5.4.1	検索例1 製品番号	22
5.4.2	検索例2 製品名	24
5.4.3	検索例3 電話番号の一部	25
5.4.4	検索例4 設置場所の一部	26
6	DMA-ESL 端末情報、パラメータの編集	27
6.1	端末情報の編集	27
6.2	パラメータの編集	31
6.2.1	概要	31
6.2.2	送信先メールアドレス	35
6.2.3	外部機器	37
6.2.4	送信完了通知・起動の待ち受け開始通知	38
6.2.5	外部機器の使用選択(シリアル)	39
6.2.6	外部機器の使用選択(イーサネット)	41
6.2.7	ヘルスチェック	44
7	DMA-T2X 端末情報、パラメータの編集	47
7.1	端末情報の編集	47

7.2	パラメータの編集	51
7.2.1	概要	51
7.2.2	送信先メールアドレス	55
7.2.3	本体設定	57
7.2.4	接点設定	58
7.2.5	リピート送信設定	61
7.2.6	アナログ入力設定のための補足説明	62
7.2.7	アナログ入力設定	64
7.2.8	通知過多ロック設定	72
7.2.9	停電通報設定	73
7.2.10	定期通報設定	75
7.2.11	テスト送信設定	78
8	T-Scope4D 端末情報、パラメータの編集	79
8.1	端末情報の編集	79
8.2	パラメータの編集	83
8.2.1	概要	83
8.2.2	送信先メールアドレス	87
8.2.3	本体設定	89
8.2.4	漏電設定	90
8.2.5	接点設定	93
8.2.6	停電通報設定	96
8.2.7	定期通報設定	98
8.2.8	ヘルスチェック	101
8.2.9	通知過多ロック設定	102
8.2.10	テスト送信設定	103
9	プロフィールの編集	104
10	ログアウト	106
11	パスワードの再発行	108

1 適用範囲

MOS-B（サーバ）のユーザーズマニュアルに適用します。

2 はじめに

MOS-B にログインする時に、初回の端末購入時に株式会社ハネロンに登録（連絡）していただいたメールアドレスを使用します。また、ご登録いただきましたメールアドレスに MOS-B からメールアドレスと仮パスワードが記載された電子メールが届きますのでご確認をお願いします。もし、MOS-B からの電子メールが届いていない場合は、株式会社ハネロン 営業窓口(electric_sales@haneron.co.jp)にお問い合わせください。

端末を MOS-B に登録するにあたっては、「端末情報」が必要になります。端末情報は、お買い求めになられました端末に同梱されている紙に記載されています。紙には、端末情報として、“製品番号”（「シリアル番号」と「端末の電話番号」）が記載されており、端末登録時に必要になりますのでご用意ください。

なお、DMA-ESL、DMA-T2X、T-Scope4D の各端末の取扱説明書等に記載されていない方法でご使用になられた場合は、正常に通信できないことがありますのでご注意をお願いします。

また、2020年10月1日時点でのSafariの最新バージョン、Chromeの最新バージョン、Microsoft Edgeの最新バージョン、Firefoxの最新バージョンのブラウザに対応しています。

ご使用の際には、ブラウザの「クッキー」(Cookie) を有効にしてください。クッキーが有効でない(クッキーをブロックしている)とログイン画面が表示されないことがあります。

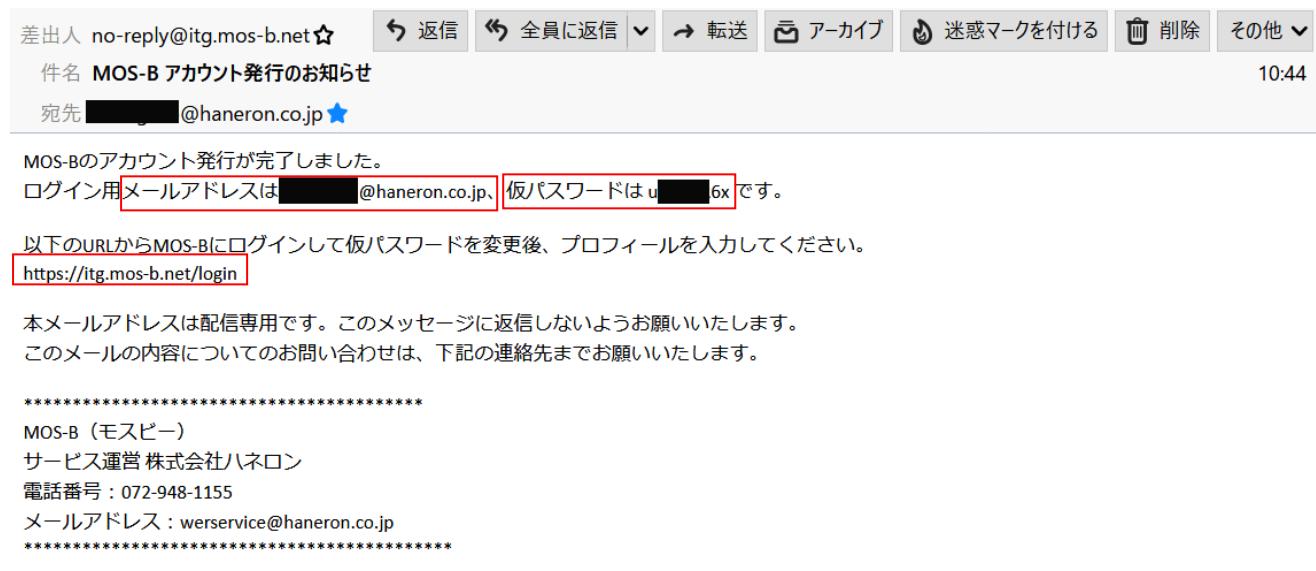
3 新規ログイン

3.1 サーバの URL、ログインメールアドレス、仮パスワードの確認

登録したメールアドレスに、「MOS-B アカウント発行のお知らせ」という件名の電子メールで、MOS-B にログインするためのメールアドレス、仮パスワード、接続するサーバの URL が記載されている電子メールが送付されます。

送付された電子メールを例を示しながら説明します。この電子メールには、MOS-B にログインするためのメールアドレスと仮パスワードとサーバの URL が記載されています。

ログインのメールアドレス : *****@haneron.co.jp、仮パスワード : u*****6x、サーバの URL : <https://itg.mos-b.net/login> と記載されています。

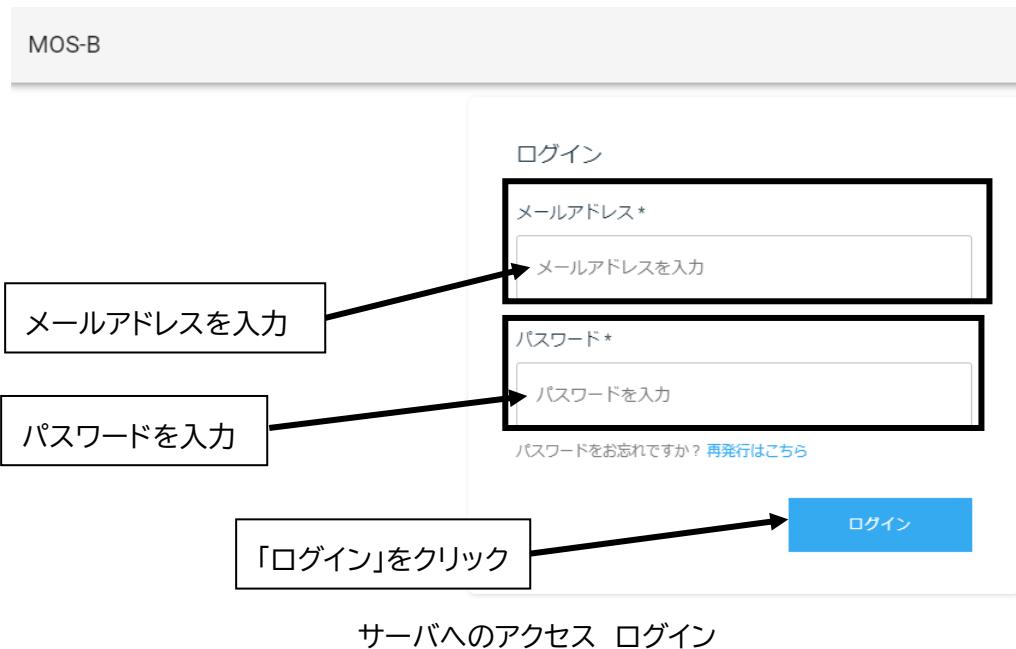


登録したメールアドレスに送信されたメールの文面

3.2 サーバ(MOS-B)へのアクセス

メールに記載されている URL <https://itg.mos-b.net/users> にアクセスすると次の画面が表示されます。ここで電子メールで確認したメールアドレスと仮のパスワードを入力します。「ペースト」が使用できない場合があるので注意して下さい。

入力し終わったら、「ログイン」をクリックします。



MOS-B

ログイン

メールアドレス*

メールアドレスを入力

パスワード*

パスワードを入力

パスワードをお忘れですか？[再発行はこちら](#)

「ログイン」をクリック

ログイン

サーバへのアクセス ログイン

3.3 新規パスワードの登録

新規にログインすると新しいパスワードの入力を求める画面が表示されます。ここで、表示にしたがいパスワードを入力し、「送信」ボタンをクリックします。

なお、パスワードには、8文字以上、英数字大文字、英数字小文字、数字が含まれることが必要になります。



MOS-B

新しいパスワードを入力してください

新しいパスワード*

新しいパスワード

ログインに戻る

送信

新規パスワードの登録

「送信」をクリック

パスワードが、8文字以上、英大文字、英小文字、数字、特殊文字が含まれるという条件を満たしていないとき次のような画面が表示されます。3文字のパスワードを入力したためパスワードの文字数の要件を満たしていない例を示しています。なお、複数の要件を満たしていない時でも1項目の要件を満たしていない表示しかされません。そのため、表示された満たしていない要件を満たしたパスワードを入力しても、別の要件が満たされていない場合は、再度表示されますのでそのコメントを満たすパスワードを入力してください。2つ目の例では、8文字以上、数字、英数大文字を含んでいるのですが英数小文字を含んでいない例を示しています。このように要件を満たしていない時コメントが表示されます。

ログインに失敗した場合は、「ログインに戻る」をクリックしてログイン画面に戻ることが推奨されます。

The screenshot shows a password entry interface. At the top, it says "新しいパスワードを入力してください". Below is a text input field labeled "新しいパスワード *". To the right of the input field are two buttons: "ログインに戻る" (Return to Login) and "送信" (Send). A red error message box contains the text "パスワードは8文字以上にする必要があります". Below the input field, there is a note about password requirements: "パスワードは以下の条件を満たす必要があります" followed by a bulleted list: "• 8文字以上", "• 英大文字を含む", "• 英小文字を含む", and "• 数字を含む". A callout box labeled "ログイン画面に戻る" points to the "ログインに戻る" button. Another callout box labeled "入力したパスワードが要件を満たしていない時の表示" points to the error message box.

パスワードが条件を満たしていない場合の画面表示 1

The screenshot shows a password entry interface. At the top, it says "新しいパスワードを入力してください". Below is a text input field labeled "新しいパスワード *". To the right of the input field are two buttons: "ログインに戻る" and "送信". A red error message box contains the text "パスワードは半角英小文字を含む必要があります". Below the input field, there is a note about password requirements: "パスワードは以下の条件を満たす必要があります" followed by a bulleted list: "• 8文字以上", "• 英大文字を含む", "• 英小文字を含む", and "• 数字を含む". A callout box labeled "入力したパスワードが要件を満たしていない時の表示" points to the error message box.

パスワードが条件を満たしていない場合の画面表示 2

3.4 プロフィールの登録

パスワードが要件を満たしたときには、次のプロフィール入力画面が表示されます。ここで会社名、部署名、ご担当者名、ご住所、電話番号を入力していただきます。なお、担当者名、ご住所、電話番号を入力していかないと保存できず、次に進むことができませんので注意してください。

MOS-B の利用を開始する前にプロフィールを入力してください

ユーザID（メールアドレス）
@haneron.co.jp

会社名	部署名
0 / 128	
ご担当者名 *	
0 / 128	
ご住所 *	電話番号 *
0 / 128	

保存

プロフィール入力画面

プロフィールがフォーマットを満たしていない時は、次のような画面が表示されます。ここでは電話番号のフォーマットが間違っている場合を示しています。電話番号は、0729480707 のような数字の羅列での入力をお願いします。072-948-0707 のようなハイフオン“-”が含まれる形ではフォーマットが不正ということで入力できないので注意してください。

MOS-B の利用を開始する前にプロフィールを入力してください

ユーザID（メールアドレス）
@haneron.co.jp

会社名	部署名
0 / 128	
ご担当者名 *	X
hanegoro	
8 / 128	
ご住所 *	X
大阪府八尾市太田2-22	
12 / 128	
電話番号 *	
072-948-7416	
電話番号のフォーマットが不正です	

保存

電話番号がフォーマットに合致していない時の表示

プロフィールの入力が条件を満たしていない場合の画面表示

プロフィールがフォーマットを満たした場合には、次の画面のような「保存」ボタンがグレーから青色になり保存可能な状態になります。ここで、「保存」をクリックします。

MOS-B ユーザメニュー

MOS-Bの利用を開始する前にプロフィールを入力してください

ユーザID（メールアドレス）
@haneron.co.jp

会社名 部署名
0 / 128 0 / 128

ご担当者名 hanegoro
X
8 / 128

ご住所 大阪府八尾市太田2-22 X
12 / 128 電話番号 * 0729487416 X

保存

保存ボタン

プロフィールの入力が条件を満たしている場合の画面表示

青色の「保存」ボタンをクリックした時に次の画面が表示されプロフィールが保存されたことが示されます。



プロフィールが保存された時の表示

ここで「OK」をクリックすると端末一覧の画面が表示されます。

次に、「OK」をクリックした後に表示される端末一覧画面を示します。現段階では、まだ端末が登録されていないので、データがない状態の表示になります。
これでログインのための登録は終了です。

The screenshot shows a web-based application interface for managing devices. At the top left is the text 'MOS-B'. At the top right is a user menu icon with the text 'ユーザメニュー'. Below the header is a blue button labeled '新規端末を登録' (Register New Device). To its right is a search bar with a magnifying glass icon and the placeholder '検索ワードを入力' (Enter search word), followed by a blue '検索' (Search) button. Below the search bar are two small buttons: '端末情報を編集' (Edit Device Information) and '端末パラメータを編集' (Edit Device Parameters). The main area is a table with the following columns: 製品番号 (Product Number), 製品名 (Product Name), 電話番号 (Phone Number), ステータス (Status), 設置場所 (Installation Location), and 備考 (Remarks). A message 'データはありません。' (No data available.) is displayed in the table body. At the bottom of the table is a pagination control: '1ページあたりの行数:' (Number of rows per page:) followed by a dropdown menu set to '5', and navigation arrows for 'First', 'Previous', 'Next', and 'Last'.

端末一覧画面

4 新規端末登録

はじめてサーバにログインした状態では、端末は登録されていない状態になります。ここでは新規端末を登録するための手順を示します。今回使用しているメールアドレスは、hanegoro@haneron.co.jp です。

4.1 ログインした時の画面

ユーザがシステムにログインした時に、端末一覧の画面が表示されます。はじめてログインした時は、次図に示すように端末が1台も登録されていない状態になります。

The screenshot shows a web-based device management interface. At the top, there's a header bar with 'MOS-B' on the left and a user menu icon on the right. Below the header is a search bar with a magnifying glass icon and a placeholder '検索ワードを入力'. To the right of the search bar is a blue '検索' button. Underneath the search bar are two small buttons: '端末情報を編集' and '端末パラメータを編集'. The main content area is a table with columns: '製品番号', '製品名', '電話番号', 'ステータス', '設置場所', and '備考'. A message 'データはありません。' is displayed below the table. At the bottom of the table area, there's a pagination control with '1ページあたりの行数:' followed by a dropdown menu set to '5', and navigation arrows for '前' and '次'.

ログインした時の画面

4.2 新規端末登録

端末一覧画面で「新規端末を登録」のボタンをクリックした時に、新規に端末を登録するための画面が表示されます。

ここでは、製品番号として、シリアル番号と電話番号を入力することが必要になります。このシリアル番号と電話番号が書かれた紙は、製品に同梱されていますのでその紙に記載されたシリアル番号と電話番号を入力してください。

The screenshot shows a registration form for a new device. At the top left is a back arrow labeled '← 端末一覧に戻る'. Below it is a note: '製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください'. There are two input fields: 'シリアル番号 *' and '電話番号 *'. At the bottom right are two buttons: 'キャンセル' and '確認'.

シリアル番号と電話番号の入力 1

シリアル番号の入力始めるとシリアル番号の枠は赤色になり書式が満足された時に、シリアル番号の枠が青色になります。電話番号も同様に入力を始めると電話番号の枠が赤色になり書式が満足された時に青色の枠になります。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	<input type="text" value="20H0052"/>	X	電話番号*
---------	--------------------------------------	---	-------

シリアル番号のフォーマットが不正です

[キャンセル](#)[確認](#)

シリアル番号と電話番号の入力 2

ここにシリアル番号に正し書式で入力された状態を示しています。このようにシリアル番号の枠が青色になっています。ここでは、先にシリアル番号を入力していますが電話番号から先に入力しても構いません。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	<input type="text" value="20H00527"/>	X	電話番号*
---------	---------------------------------------	---	-------

[キャンセル](#)[確認](#)

シリアル番号と電話番号の入力 3

次に電話番号の入力が書式に合致していない場合の例を示しています。電話番号は、08079213015 のような数字の羅列での入力をお願いします。080-7921-3015 のようなハイフォン“-”が含まれる形では書式が不正ということで、以下のような“電話番号のフォーマットが不正です”というコメントが表示されます。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	20H00527	電話番号*	080-7921-3015	X
---------	----------	-------	---------------	---

電話番号のフォーマットが不正です

[キャンセル](#)[確認](#)

シリアル番号と電話番号の入力 4

また、電話番号では、電話番号の桁数が合わないと、次図のような“電話番号のフォーマットが不正です”というコメントが表示されます。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	20H00527	電話番号*	0807921301	X
---------	----------	-------	------------	---

電話番号のフォーマットが不正です

[キャンセル](#)[確認](#)

シリアル番号と電話番号の入力 5

シリアル番号と電話番号が書式に合致した場合は、つぎの図のように電話番号の枠の赤色が青色になり、「確認」ボタンがグレーから青色になり、「確認」ボタンを押すことができる状態になります。「確認」ボタンを押すことで、サーバ（MOS-B）に保存されている端末情報とここに入力したシリアル番号と電話番号と照合します。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	20H00527	電話番号*	08079213015
---------	----------	-------	-------------

[キャンセル](#)[確認](#)

シリアル番号と電話番号の入力 6

MOS-B に保存されている端末情報の入力したシリアル番号と電話番号情報が合致した場合は次のような画面が表示されます。この段階で登録可能になります。ここで登録を終了する場合は、「登録」ボタンをクリックします。続けて登録をおこなう場合は、「登録して別の端末を入力」ボタンをクリックします。ここでは、「登録して別の端末を入力」ボタンをクリックします。

MOS-B

20H0052708079213015

製品名	電話番号	メールアドレス
DMA-ESL	08079213015	20H0052708079213015@itg.mos-b.net

設置場所

八尾市のどわら堺原市志紀町から歩いて50分

X

21 / 64

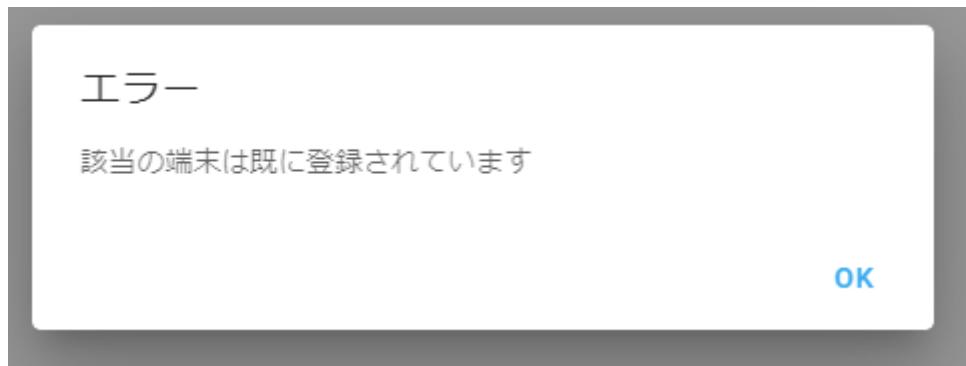
備考

0 / 128

[キャンセル](#)[登録](#)[登録して別の端末を入力](#)

端末情報の確認

なお、MOS-B に保存されている端末情報のシリアル番号と電話番号がすでに登録されていたり、登録されていないシリアル番号や電話番号のような場合は次のようなエラー画面が表示されます。



シリアル番号や電話番号が既に登録されている場合の表示

端末情報確認の画面で「登録して別の端末を入力」ボタンをクリックすると次に示す画面が表示されます。この画面ははじめに新規端末登録のボタンをクリックした時に表示される画面と同じものです。繰り返し端末を登録する時に表示されます。

MOS-B

← 端末一覧に戻る

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号 *

電話番号 *

キャンセル

確認

シリアル番号と電話番号の入力 7

続けて、別の端末情報のシリアル番号と電話番号を入力して、「確認」ボタンをクリックします。

MOS-B

[← 端末一覧に戻る](#)

製品番号（シリアル番号と電話番号）を入力して確認ボタンを押してください

シリアル番号*	20H00537	電話番号*	08079213014	X
---------	----------	-------	-------------	---

キャンセル

確認

シリアル番号と電話番号の入力 8

前回と同様に MOS-B に保存されている端末情報と入力したシリアル番号と電話番号が合致した場合は次のような画面が表示されます。ここでは、「登録」ボタンをクリックします。

MOS-B

20H0053708079213014

製品名	電話番号	メールアドレス
DMA-ESL	08079213014	20H0053708079213014@itg.mos-b.net

設置場所	大阪府柏原市JR天王寺駅から大和路線で30分ぐらい行った志紀駅	X
------	---------------------------------	---

63 / 64

備考	JR天王寺駅から大和路線で30分ぐらい行った志紀駅	X
----	---------------------------	---

66 / 128

キャンセル

登録

登録して別の端末を入力

端末登録確認の画面

「登録」ボタンをクリックすることで登録完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすると、初期画面である端末一覧が表示されます。



新規端末登録の完了画面

「OK」をクリックした時に、ログインした時の初期画面の端末一覧が表示されます。はじめは端末が 1 台も登録されていませんでしたが、この画面では、新規端末として登録した 2 つの端末が表示されていることを確認できます。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0052708079213015	DMA-ESL	08079213015			
<input type="checkbox"/> 20H0053708079213014	DMA-ESL	08079213014			

1ページあたりの行数 : 10 1-2 件目 / 2件 < >

登録した端末の情報

端末一覧画面での端末情報の表示

5 端末一覧画面の操作

ここでは端末一覧画面の操作方法について説明します。次図に MOS-B にログインして端末一覧画面が表示されている状態を示しています。

初期状態では端末の表示数が 5 台になっています。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			

1ページあたりの行数: 5 1-5 件目 / 33 件

端末一覧画面

5.1 端末表示数の変更

ここでは端末の表示台数の変更方法を説明します。画面の下側に「1 ページあたりの行数」と書かれてその右側に「5」と書かれています。これが端末の 1 ページに表示する台数になります。「5」の右側に「▼」があります。この▼をクリックすることで表示する端末の台数が表示されるのでこの中から選択します。また、▼の右側に「1-5 件目/33 件」と書かれているように 33 台が登録されています。

1ページあたりの行数: 5 ▼ 1-5 件目 / 33 件

端末の表示台数に関する表示部分

端末の表示台数の変更 1

ユーザーズマニュアル 22006Z001

ここで画面の下側に「1 ページあたりの行数」、「5」の右側の「▼」をクリックした状態を示しています。端末の表示台数の選択肢として、“5”、“10”、“15”、“すべて”的4つがあることがわかります。

MOS-B

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を探集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			

1ページあたりの行数: 5 10 15 すべて 1-10 件目 / 33 件 < >

端末表示台数の選択肢

端末の表示台数の変更 2

つぎに、表示台数を 10 台した状態を示します。表示台数の選択により表示数が変わっていることを確認することができます。

MOS-B

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を探集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
□ 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
□ 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
□ 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
□ 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
□ 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

1ページあたりの行数: 10 1-10 件目 / 33 件 < >

端末表示台数 10

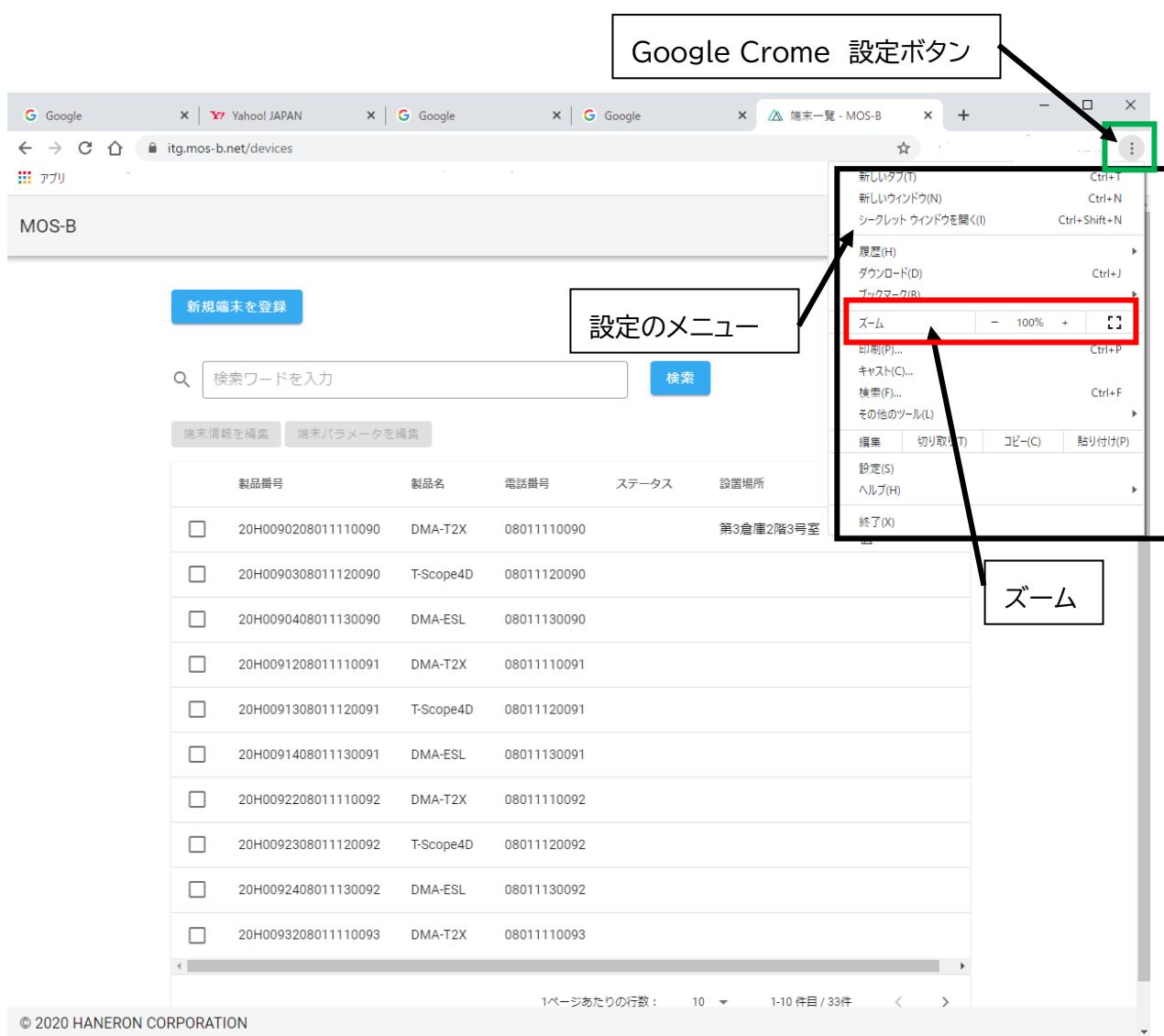
端末の表示台数の変更 3

5.2 画面表示の変更

ご使用になるパソコンやスマートフォンなどでは画面内に表示させる範囲を変更することができます。ここでは、パソコンで画面の表示サイズを変更した時の画面の表示状態を示します。使いやすい表示状態にしてご使用ください。

WINDOWS10でGoogle Cromeを使用している環境での説明をさせていただきます。まず、画面右上にあるGoogle Cromeの設定ボタンの縦に点が3つ並んでいるとことをクリックします。これによりメニューが表示されます。

このメニューの中の中央ぐらいに「ズーム」という表示があり、このズームの右側に「-」、「100%」、「+」と書かれています。（この「100%」は現時点での状態を示しており、拡大や縮小した時に「100%」はその倍率に変わります。



画面表示の変更 1

ここでズーム倍率を 80%にしたものと 125%にした画面を次に示します。この画面を見比べることで、文字サイズ、ボタンサイズが異なることや表示される範囲が異なることがわかります。

MOS-B ユーザメニュー

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
□ 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
□ 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
□ 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
□ 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
□ 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

1ページあたりの行数 : 10 1-10 件目 / 33 件 < >

画面表示 ズーム倍率 80%

MOS-B ユーザメニュー

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
□ 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
□ 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			

© 2020 HANERON CORPORATION

画面表示 ズーム倍率 125%

5.3 並べ替え

ここでは端末データの並べ替えの方法について説明します。並べ替えができるのは、端末リストの項目名で昇順、降順の並べ替えができます。有効に使用できると思われる、“製品番号”、“製品名”の2つについて例を示します。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			

1ページあたりの行数： 5 ▾ 1-5 件目 / 33件 < >

並べ替え 1

製品番号で並べ替えをします。製品番号の上にカーソルを持っていくと次図に示すような、「↑」上向き矢印、もしくは、「↓」下向き矢印が表示されます。上向き矢印は昇順、下向き矢印は降順を示しています。この矢印をクリックすることで、昇順と降順の並べ替えすることができます。

<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	↑
--	---

並べ替え 2

製品番号を昇順にした状態（製品番号右の矢印が上向き）を次に示します。製品番号が昇順に並んでいることが確認できます。この並べ替えは現時点で表示されている 10 件のデータだけではなく登録されているすべてデータを対象として並べ替えをしています。

製品番号↑	製品名	電話番号	ステータス
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090	
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090	
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090	
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091	
<input checked="" type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091	
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091	
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092	
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092	
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092	
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093	

並べ替え 3

製品番号を降順にした状態を次に示します。製品番号横の矢印が下向きになっており、製品番号が降順に並んでいることがわかります。

製品番号↓	製品名	電話番号
<input type="checkbox"/> 20H0100408011130100	DMA-ESL	08011130100
<input type="checkbox"/> 20H0100308011120100	T-Scope4D	08011120100
<input type="checkbox"/> 20H0100208011110100	DMA-T2X	08011110100
<input type="checkbox"/> 20H0099408011130099	DMA-ESL	08011130099
<input type="checkbox"/> 20H0099308011120099	T-Scope4D	08011120099
<input type="checkbox"/> 20H0099208011110099	DMA-T2X	08011110099
<input type="checkbox"/> 20H0098408011130098	DMA-ESL	08011130098
<input type="checkbox"/> 20H0098308011120098	T-Scope4D	08011120098
<input type="checkbox"/> 20H0098208011110098	DMA-T2X	08011110098
<input type="checkbox"/> 20H0097408011130097	DMA-ESL	08011130097

並べ替え 4

次に製品名を昇順にした状態を次に示します。数字でなくわかりにくいのですが昇順に並んでいます。製品毎分けて表示をさせて製品を探す場合に使用できます。

製品番号	製品名↑	電話番号
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092
<input type="checkbox"/> 20H0093408011130093	DMA-ESL	08011130093
<input type="checkbox"/> 20H0094408011130094	DMA-ESL	08011130094
<input type="checkbox"/> 20H0095408011130095	DMA-ESL	08011130095
<input type="checkbox"/> 20H0096408011130096	DMA-ESL	08011130096
<input type="checkbox"/> 20H0097408011130097	DMA-ESL	08011130097
<input type="checkbox"/> 20H0098408011130098	DMA-ESL	08011130098
<input type="checkbox"/> 20H0099408011130099	DMA-ESL	08011130099

並べ替え 5

昇順に表示

製品名を降順にした状態を次に示します。製品名で降順に並んでいます。昇順では、DMA-ESL が、降順では T-Scope4D の製品のリストが表示されています。この例からも、この並べ替えが表示されているデータだけではなく登録されているデータの並べ替えをしていることを確認できます。

製品番号	製品名↓	電話番号
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092
<input type="checkbox"/> 20H0093308011120093	T-Scope4D	08011120093
<input type="checkbox"/> 20H0094308011120094	T-Scope4D	08011120094
<input type="checkbox"/> 20H0095308011120095	T-Scope4D	08011120095
<input type="checkbox"/> 20H0096308011120096	T-Scope4D	08011120096
<input type="checkbox"/> 20H0097308011120097	T-Scope4D	08011120097
<input type="checkbox"/> 20H0098308011120098	T-Scope4D	08011120098
<input type="checkbox"/> 20H0099308011120099	T-Scope4D	08011120099

並べ替え 6

降順に表示

5.4 検索

ここでは端末データの検索の方法について、検索例を示しながら説明します。検索を行うためには、画面上中央部にある検索欄に検索ワードを入力して、検索欄の右側にある「検索」ボタンをクリックする、もしくは、PCなどの「enter」キーを入力することで検索することができます。なお、複数の検索ワードでの検索はできませんので注意してください。

MOS-B

The screenshot shows the MOS-B search interface. At the top, there is a blue button labeled "新規端末を登録". Below it is a search bar with a magnifying glass icon and the placeholder text "検索ワードを入力". To the right of the search bar is a blue "検索" button. Below the search bar are two small gray buttons: "端末情報を編集" and "端末パラメータを編集". The main area contains a table with columns: 製品番号↑, 製品名, 電話番号, ステータス, 設置場所, and 備考. There are two rows of data:

製品番号↑	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			

検索 1

5.4.1 検索例1 製品番号

検索欄に「20H0092」と入力している状態を次に示しています。まだ、「検索」ボタンはクリックしていない状態です。ここに示しているように、検索ワードは、製品番号、製品名や電話番号の全部ではなく一部でも検索することが可能です。

MOS-B

The screenshot shows the MOS-B search interface. At the top, there is a blue button labeled "新規端末を登録". Below it is a search bar with a magnifying glass icon and the placeholder text "検索ワードを入力". The search bar contains the text "20H0092", which is highlighted with a red rectangle. To the right of the search bar is a blue "検索" button with a white "X" icon. Below the search bar are two small gray buttons: "端末情報を編集" and "端末パラメータを編集". The main area contains a table with columns: 製品番号↑, 製品名, 電話番号, ステータス, 設置場所, and 備考. There are two rows of data:

製品番号↑	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			

検索 2

検索欄に「20H0092」と入力して、「検索」ボタンをクリックして検索を実行した状態を次に示しています。検索ワードの「20H0092」は製品番号の一部に当たるので製品番号の一部に「20H0092」が含まれる製品が検索結果として示されています。

MOS-B

The screenshot shows a search interface with a search bar containing '20H0092'. Below the search bar is a table of search results. The first two rows in the table are highlighted with a red box, indicating they contain the search term '20H0092'. A callout box on the left labeled '「20H0092」が含まれる検索結果' points to these rows. An arrow points from the text to the highlighted rows.

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			

検索 3

なお、検索結果を解除して検索していない状態に戻すには、検索欄の右にある「X」をクリックすることで検索前の状態に戻ります。なお、複数の検索ワードによる検索はできませんので注意してください。

MOS-B

The screenshot shows the same search interface as before, but the search bar now contains an empty 'X' character, indicating the search has been cleared. A callout box on the right labeled '検索解除時にクリック' points to the 'X' button in the search bar. An arrow points from the text to the 'X' button.

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			

検索 4

5.4.2 検索例2 製品名

検索欄に「DMA-T」と入力して、「検索」ボタンをクリックして検索を実行した状態を次に示しています。検索ワードの「DMA-T」は製品名の一部に当たるので製品名が「DMA-T2X」であるものが検索結果として示されています。なお、「DMA-T2X」として検索した結果の11件の内10件が表示されています。

MOS-B

新規端末を登録

検索

DMA-T

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			
20H0094208011110094	DMA-T2X	08011110094			
20H0095208011110095	DMA-T2X	08011110095			
20H0096208011110096	DMA-T2X	08011110096			
20H0097208011110097	DMA-T2X	08011110097			
20H0098208011110098	DMA-T2X	08011110098			
20H0099208011110099	DMA-T2X	08011110099			

「DMA-T」が含まれる検索結果

検索結果の件数

1-10 件目 / 11 件

検索 5

5.4.3 検索例 3 電話番号の一部

検索欄に「1009」と入力して、「検索」ボタンはまだクリックしていない状態を次に示しています。検索ワードの「1009」は製品番号と電話番号の一部に当たります。検索ワードの「1009」は、電話番号の中間の一部でも構いません。ただし、検索ワードが短すぎると検索結果も多くなりどこに含まれているかを確認することが容易でなくなることがあるので注意してください。

The screenshot shows a search interface with a search bar containing '1009'. Below the search bar are two buttons: '端末情報を編集' and '端末パラメータを編集'. The main area displays a table of search results:

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090		
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090		
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091		

A red box highlights the last digit '0' of the phone number '08011110090' in the first row. A black arrow points from this highlighted digit to a callout box labeled '検索ワードの「1009」'.

検索 6

次に、検索ワードを「1009」として検索した結果を示しています。検索結果に「1009」が含まれていることを確認できます。このように、検索ワードは検索対象の一部分であっても検索可能なことを示しています。

The screenshot shows a search interface with a search bar. Below the search bar is a table of search results:

製品番号	製品名	電話番号
20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090
20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091
20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092
20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093
20H0094208011110094	DMA-T2X	08011110094
20H0095208011110095	DMA-T2X	08011110095
20H0096208011110096	DMA-T2X	08011110096
20H0097208011110097	DMA-T2X	08011110097
20H0098208011110098	DMA-T2X	08011110098
20H0099208011110099	DMA-T2X	08011110099

A vertical red box highlights the entire phone number '0801111009' in the first row. A black arrow points from the bottom right of this highlighted box to a callout box labeled '検索ワードの「1009」'.

検索 7

5.4.4 検索例 4 設置場所の一部

検索欄に「第3倉庫」と入力して、「検索」ボタンはまだクリックしていない状態を次に示しています。検索ワードの「第3倉庫」は設置場所に記載した一部分に当たります。

The screenshot shows a search interface with a search bar containing '第3倉庫'. Below the search bar is a table with columns: 製品番号↓, 製品名, 電話番号, ステータス, and 設置場所. The table contains four rows of data. A callout box labeled '検索ワードの「第3倉庫」' points to the last column of the first row, which contains the value '2階3号室'.

製品番号↓	製品名	電話番号	ステータス	設置場所
<input type="checkbox"/> 20H0100408011130100	DMA-ESL	08011130100		
<input type="checkbox"/> 20H0100308011120100	T-Scope4D	08011120100		
<input type="checkbox"/> 20H0100208011110100	DMA-T2X	08011110100		
<input type="checkbox"/> 20H0099408011130099	DMA-ESL	08011130099		

検索 8

次に、検索ワードを「第3倉庫」として検索した結果を示しています。検索結果の設置場所に「第3倉庫」が含まれていることを確認できます。このように、検索ワードは検索対象の一部分であっても検索可能なことを示しています。

The screenshot shows a search interface with a search bar containing '第3倉庫'. Below the search bar is a table with columns: 製品番号↓, 製品名, 電話番号, ステータス, 設置場所, and 備考. The table contains one row of data. A callout box labeled '検索ワードの「第3倉庫」' points to the '設置場所' column of the single result row, which contains '2階3号室'. The '備考' column also contains the text '2020年8月24日設置'.

製品番号↓	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫 2階3号室	2020年8月24日設置

検索 9

検索ワードの
「第3倉庫」

6 DMA-ESL 端末情報、パラメータの編集

6.1 端末情報の編集

端末情報の編集方法について説明します。初期状態では、「端末情報を編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末情報を編集するためには、端末情報を編集する端末を1台選ぶことが必要になります。端末を選択した状態は次ページに示します。

なお、端末情報には、「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「端末のメールアドレス」、「設置場所」、「備考」の6項目が含まれます。編集可能な情報は、「設置場所」、「備考」の2つであり、残りの4項目は変更できません。

MOS-B

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

1ページあたりの行数： 10 < > 1-10 件目 / 33件

© 2020 HANERON CORPORATION

端末情報の編集 1

ここでは、端末一覧の 1 行目の製品番号「20H0090208011110090」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末情報を編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集ボタン

端末情報を編集 チェックボックス

製品番号	製品名	電話番号	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090	
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	080111120090	
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	080111130090	
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	080111110091	

端末情報の編集 2

次に「端末情報を編集」ボタンをクリックして表示される画面を示します。次に示しているように「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「メールアドレス」、「設置場所」、「備考」の 6 項目と右下に「キャンセル」と「保存」の 2 つのボタンがあります。ここで編集可能なのは、「設置場所」と「備考」の 2 項目です。

← 端末一覧に戻る

製品番号	20H0090208011110090
製品名	DMA-T2X
電話番号	08011110090
設置場所	0764
備考	0 / 128
メールアドレス	20H0090208011110090@itg.mos-b.net

キャンセル 保存

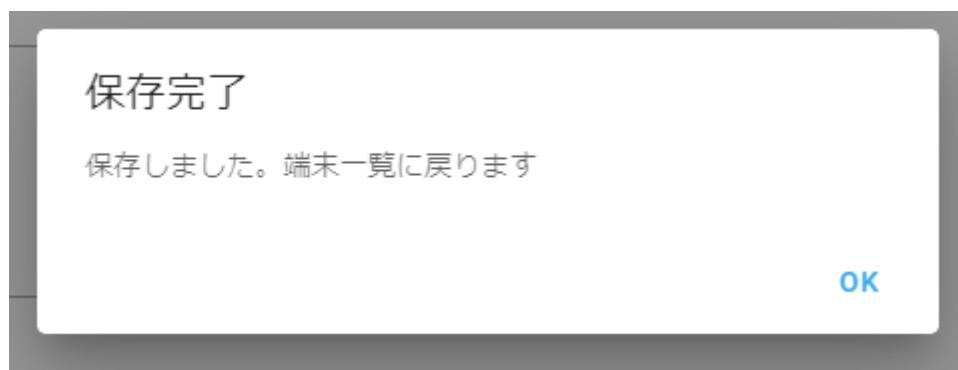
端末情報の編集 3

ここでは、「設置場所」に“第3倉庫2階3号室”、「備考」に“2020年8月24日設置”と入力しています。ここで右下にある「保存」をクリックします。



端末情報の編集 4

次に「保存」ボタンをクリックして保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで端末一覧画面に移動します。



端末情報の編集 5

次に保存完了画面で「OK」をクリックして表示される端末一覧画面を示します。編集した製品一覧の1行目の製品に入力した「設置場所」と「備考」が保存されていることを確認できます。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

端末情報の編集 5

なお、端末一覧の中の「ステータス」は端末が再起動中に「再起動中」が表示されます。画面の再読み込みで更新することができます。

6.2 パラメータの編集

6.2.1 概要

端末パラメータの編集方法について説明します。初期状態では、「端末パラメータを編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末パラメータを編集するためには、端末パラメータを編集する端末を1台選ぶことが必要で選択することにより端末パラメータの編集が可能になります。端末パラメータを編集する端末を選択した状態を次のページに示します。

なお、端末パラメータは、DMA-ESL、DMA-T2X、T-Scope4Dなどの製品によって異なります。



検索ワードを入力 検索

最新情報取得

<input type="checkbox"/>	製品番号	製品名	電話番号 ↓	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/>	21H0022X09131476891	DMA-ESL	09131476891			
<input checked="" type="checkbox"/>	21H0112X09121476999	DMA-ESL	09121476999			
<input type="checkbox"/>	21H0112X09121476810	DMA-ESL	09121476810			
<input type="checkbox"/>	20H0004108095444480	DMA-T2X	08095444480			

パラメータを編集する端末

DMA-ESL の端末パラメータの編集 1

ここでは、端末一覧の1行目の製品番号「21H0112X09121476999」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末パラメータを編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。



検索ワードを入力 検索

最新情報取得

<input type="checkbox"/>	製品番号	製品名	電話番号 ↓	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/>	21H0022X09131476891	DMA-ESL	09131476891			
<input checked="" type="checkbox"/>	21H0112X09121476999	DMA-ESL	09121476999			
<input type="checkbox"/>	21H0112X09121476810	DMA-ESL	09121476810			
<input type="checkbox"/>	20H0004108095444480	DMA-T2X	08095444480			

端末パラメータを編集ボタン

チェックボックス

DMA-ESL の端末パラメータの編集 2

次に「端末パラメータを編集」ボタンをクリックして表示される画面を示しています。次図は、製品番号「21H0112X09121476999」の DMA-ESL からパラメータを読込んでいる時の画面を示しています。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 3

次にパラメータを読み込みが完了した画面を示します。DMA-ESL のパラメータ編集画面の 1 部分が表示されています。画面をスクロールすることですべてのパラメータを確認することができます。また、画面上部にある「端末一覧に戻る」をクリックすることで「端末一覧」に戻ることができます。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 4

次に画面をスクロールしてページの一番下の部分を示します。ここで右下に「キャンセル」と「保存」ボタンがあることがわかります。パラメータを保存しないでこの画面を離れる場合は、「キャンセル」をクリックし、パラメータを保存する場合には「保存」をクリックします。これにより、編集したパラメータを保存することができます。

ただし、入力した値がフォーマットに合致していない場合は、「保存」ボタンがグレーで保存ができない状態なので正しいフォーマットの値を入力してください。

送信完了通知

通知する 通知しない

起動の待受開始通知

通知する 通知しない

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔:

送信件名

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

キャンセル 保存

DMA-ESL の端末パラメータの編集 5

「保存」をクリックすることで、保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで、画面が端末一覧の初期状態に戻り、パラメータ変更をおこなった該当端末がパラメータの書き込みとともに新しいパラメータを有効化するための「端末の再起動」をおこなっています。

「OK」をクリックすることで、端末一覧の初期状態に戻ります。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 6

<input type="checkbox"/>	製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考	登録日時
<input type="checkbox"/>	20H0001108011111111	DMA-ESL	08011111111	20H			2020/08/19 18:32:59
<input type="checkbox"/>	20H0001208011110001	DMA-T2X	08011110001	20H			2020/08/20 10:55:10
<input type="checkbox"/>	20H0001308011120001	T-Scope4D	08011120001	20H			2020/08/20 11:11:01
<input type="checkbox"/>	20H0001408011130001	DMA-ESL	08011130001	20H			2020/08/20 12:03:25
<input type="checkbox"/>	20H0002108011111112	DMA-ESL	08011111112	20H			2020/08/19 18:32:59
<input type="checkbox"/>	20H0002108095222290	DMA-T2X	08095222290	20H			2020/08/25 11:53:37
<input type="checkbox"/>	20H0002208011110002	DMA-T2X	08011110002	20H			2020/08/20 10:55:10
<input type="checkbox"/>	20H0002308011120002	T-Scope4D	08011120002	20H			2020/08/20 11:11:01
<input type="checkbox"/>	20H0002408011130002	DMA-ESL	08011130002	20H			2020/08/20 12:03:25
<input type="checkbox"/>	20H0003108011111113	DMA-ESL	08011111113	20H			2020/08/19 18:32:59
<input type="checkbox"/>	20H0003108095333390	DMA-T2X	08095333390	20H			2020/08/25 11:53:37
<input type="checkbox"/>	20H0003208011110003	DMA-T2X	08011110003	20H			2020/08/20 10:55:10
<input type="checkbox"/>	20H0003308011120003	T-Scope4D	08011120003	20H			2020/08/20 11:11:01

DMA-ESL の端末パラメータの編集 7

このタイミングで、端末パラメータを編集した端末のパラメータ編集を実行すると次の画面が表示されます。このように端末は再起動中になりますので、再度編集するときは、再起動完了後にお願いします。いったん「キャンセル」をクリックして端末一覧に戻り再度お試しください。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 8

6.2.2 送信先メールアドレス

ここでパラメータ編集画面の説明をします。次の図では、送信先メールアドレスが1件も登録されていない状態です。そのため送信先の下に10個のチェックボックスが並んでいるだけです。送信先を設定するには登録したい送信先番号のチェックボックスにチェックを入れます。送信先1は“必修”になっていますので、ここでは、送信先1にメールアドレスを入力する状態を示します。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 9

送信先1にメールアドレスを入力するために1番のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。1番目のチェックボックスにチェックを入れることにより、チェックボックスの下に、「送信先アドレス1」という入力欄に入力することが可能になります。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1

0 / 54

DMA-ESL の端末パラメータの編集 10

次に「送信先アドレス1」の入力欄に入力している途中の状態を示します。入力した値がフォーマットに合致しない場合は枠が赤色になります。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est

送信先アドレス1のフォーマットが不正です

4 / 54

DMA-ESL の端末パラメータの編集 11

「送信先アドレス 1」の入力欄への入力が完了した状態を示しています。枠が青色になっています。ここでは、フォーマットの確認をしているだけで、正しくメールアドレスが入力されていることを保証するものではありません。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

18 / 54

DMA-ESL の端末パラメータの編集 12

つづいて、「送信先アドレス 8」のチェックボックスにチェックを入れた状態を示します。このように、連続した番号でなくても入力することは可能です。下に「送信先アドレス 8」の記入欄が設けられていることが確認できます。

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

送信先アドレス8

18 / 54

0 / 54

DMA-ESL の端末パラメータの編集 13

SMS 受信は、送信先メールアドレスと同様に設定できます。入力部分が電話番号になります。（電話番号のフォーマット X : 072-948-0514 ○ : 0729480514 ハイフンは含みません）

6.2.3 外部機器

ここで外部機器のパラメータ編集について説明をします。外部機器は、データ終端判定の設定をします。データ終端判定の方法として、「終端判定時間経過」を用いるか、「終端判定時間経過、または終端コード受信」を選択します。次の図では、終端判定時間経過を選択した状態を示しています。ここでは、データ終端判定時間を入力します。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 14

次の図は、データ終端判定の方法として、「終端判定時間経過、または終端コード受信」を選択した状態を示しています。ここでは、データ終端判定時間とデータ終端コードを入力します。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 15

6.2.4 送信完了通知・起動の待ち受け開始通知

「送信完了通知」と「起動の待ち受け開始通知」について説明します。次図には、送信完了通知と起動の待ち受け開始通知が両方とも「通知しない」になっています。これらの2つの項目は、「通知する」か「通知しない」の2択になります。

送信完了通知

通知する 通知しない

起動の待受開始通知

通知する 通知しない

DMA-ESL の端末パラメータの編集 16

「送信完了通知」と「起動の待ち受け開始通知」が両方とも「通知する」になっている例を示しています。

「送信完了通知」は、通信完了通知コードの成功時と失敗時を、「起動の待ち受け開始通知」は、待受開始通知コードを入力、もしくは選択します。

送信完了通知

通知する 通知しない

通信完了通知コード(成功時)

06

通信完了通知コード(失敗時)

4a

起動の待受開始通知

通知する 通知しない

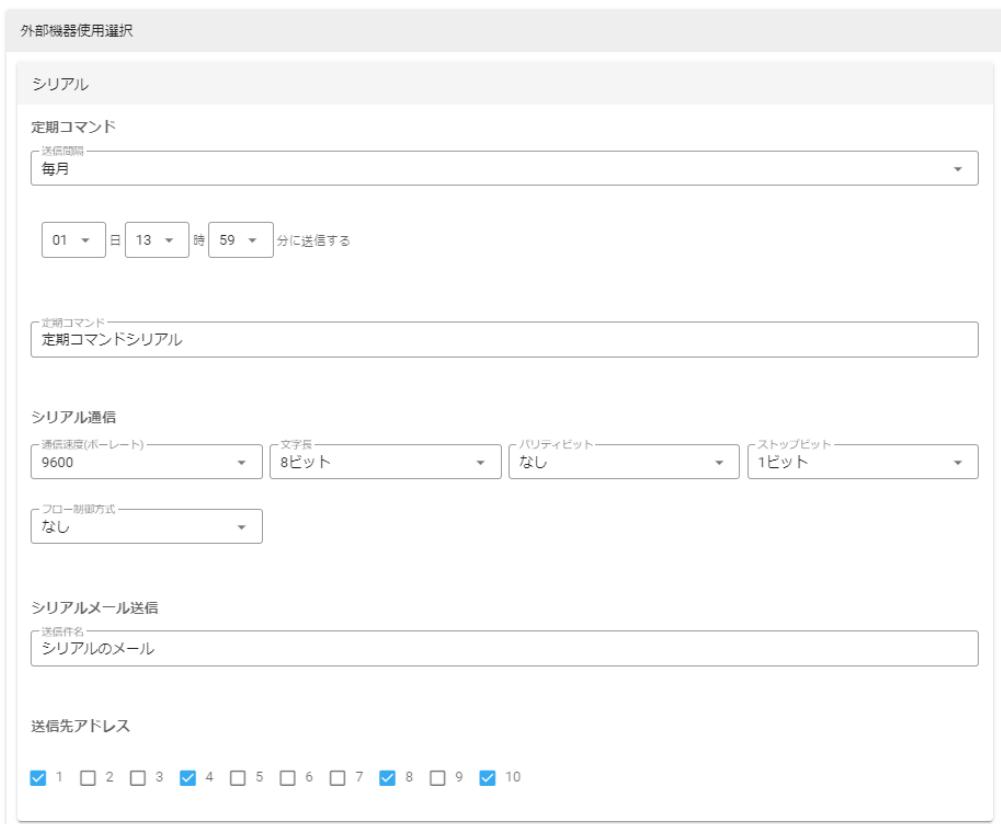
待受開始通知コード

6e

DMA-ESL の端末パラメータの編集 17

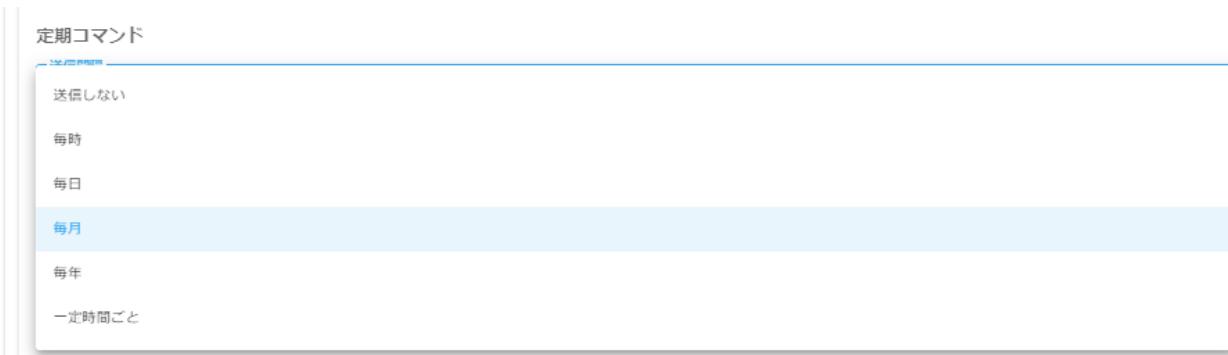
6.2.5 外部機器の使用選択(シリアル)

外部機器の使用選択について説明します。外部機器の使用選択は、大きく分けて「シリアル」と「イーサネット」の2つがあります。まず、「シリアル」の外部機器の使用選択について説明します。次図には、シリアルの設定項目が示されています。順次説明します。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 18

定期コマンドの設定項目では、「送信間隔」と「時刻」を設定することができます。「送信間隔」は選択式になっており、「送信しない」「毎時」「毎日」「毎月」「毎年」「一定時間ごと」から選択することができます。この「送信間隔」を設定することで、選択した送信間隔に合わせた「時刻設定」が表示されるので、送信したい時刻を設定してください。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 19

時刻設定の下にある「定期コマンド」の入力欄には、外部機器にコマンドとして出力したい内容を設定します。これにより、設定した「送信間隔」の設定した時刻に、入力欄に入力した「定期コマンド」が外部機器に出力されます。

「シリアル通信」の項目には、外部機器と DMA-ESL とシリアル通信をするために「通信速度」「文字長」「パリティビット」「ストップビット」「フロー制御方式」の通信条件を選択してください。

定期コマンド
定期コマンドシリアル

シリアル通信

通信速度(ボーレート) 9600 文字長 8ビット パリティビット なし ストップビット 1ビット

フロー制御方式 なし

DMA-ESL の端末パラメータの編集 20

シリアルメール送信では、端末からメールとして送信する際のメールの「件名」と「送信先メールアドレス」を設定することができます。「送信件名」はメールの件名に入力されます。また、「送信先アドレス」ではメールを送信したい宛先を設定します。送信先アドレスは、すでに設定している「送信先設定」のメールアドレス（1 から 10）に対応しています。「送信先アドレス」の番号横にチェックを入れることで設定した送信先メールアドレスにメールを送信することができます。ここでは、1 番、4 番、8 番、10 番に設定したメールアドレスにメールを送信することができます。

シリアルメール送信

送信件名 シリアルのメール

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 21

6.2.6 外部機器の使用選択(イーサネット)

外部機器の使用選択の「イーサネット」について説明します。次図からイーサネットの設定項目を示し説明します。

イーサネット

イーサネット設定

通常プロトコル
TCP/IP(サーバー)

TCPクライアント出力

(○) 使用する(UDP/IP選択時は無効) (●) 使用しない

送信間隔
毎月

11 日 13 時 14 分に送信する

定期コマンド
\002READ\003\

通信設定

IPアドレス 192.169.10.10 リブコットマスク 255.255.255.0 ゲートウェイ 192.169.10.1 ポート番号 50000

外部機器設定

IPアドレス 192.169.10.100 ポート番号 50000

イーサネットメール送信

送信件名 いーざです

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

看板データ出力機器

看板データ出力機器 シリアル

DMA-ESL の端末パラメータの編集 22

「インターネット設定」の「通信プロトコル」では、通信プロトコルの「TCP/IP(サーバ)」と「UDP/IP」から選択することができます。ご使用になる通信プロトコルを選択してください。「TCP クライアント出力」には、使用する場合は、「使用する」を使用しない場合は、「使用しない」を選択してください。

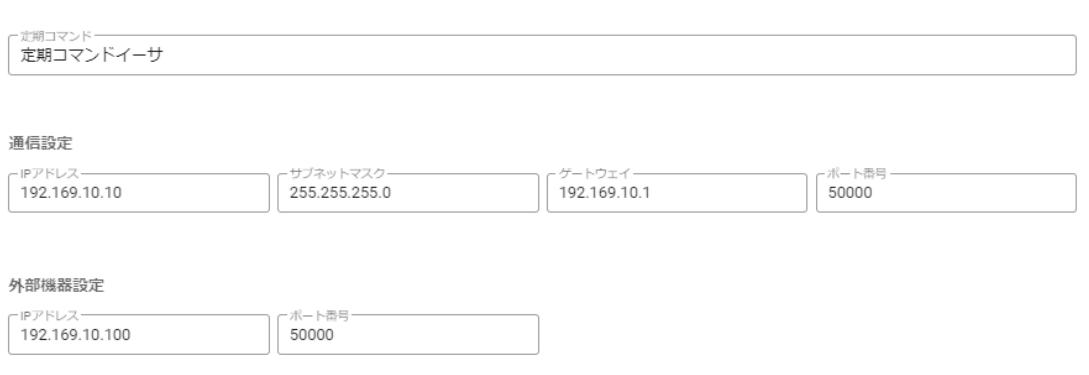
「送信間隔」については、「シリアル」と同様に「送信間隔」で「送信しない」「毎時」「毎日」「毎月」「毎年」「一定時間ごと」から選択してください。この「送信間隔」を設定することで、選択した送信間隔に合わせた「時刻設定」が表示されるので、設定したい時刻を設定してください。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 23

「定期コマンド」の入力欄には、外部機器にコマンドとして出力したい内容を入力します。これにより、上で設定した「送信間隔」の設定した時刻に、入力欄に入力した「定期コマンド」の内容が外部機器に出力されます。

「通信設定」の項目には、DMA-ESL の通信条件を設定してください。また、次の「外部機器設定」には、外部機器の通信条件を設定してください。



DMA-ESL の端末パラメータの編集 24

「イーサネットメール送信」では、メール送信する際の「件名」と「送信先メールアドレス」を設定することができます。「送信件名」はメールの件名として入力されます。また、「送信先アドレス」にはメールを送信したい宛先を設定します。送信先アドレスは、すでに設定している「送信先設定」のメールアドレス(1から10)に対応しています。「送信先アドレス」の番号横にチェックを入れることで設定した送信先メールアドレスにメールを送信することができます。ここでは、10番に設定したメールアドレスにメールを送信することができます。

イーサネットメール送信

送信件名
いーさです

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 25

「着信データ出力機器」では、DMA-ESL がメール受信した内容を外部機器に出力する際に、「シリアル」に接続された外部機器か、「イーサネット」に接続された機器がを選択します。ここでは、「シリアル」か「イーサネット」のどちらかを選択します。

着信データ出力機器

着信データ出力機器
シリアル

DMA-ESL の端末パラメータの編集 26

6.2.7 ヘルスチェック

ヘルスチェックのパラメータ編集について説明します。次の図に、ヘルスチェックを送信しない状態を示しています。ヘルスチェックを送信しない場合は、送信間隔の下の「送信間隔」の選択欄を「送信しない」を選択することで送信をしない設定にすることができます。

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔
送信しない

送信件名

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 27

送信間隔の下の「送信間隔」の選択欄をクリックして、選択肢を表示した状態を次に示します。「送信しない」を選択することで送信をしない設定にすることができます。

選択肢には、「送信しない」、「毎時」、「毎日」、「毎月」、「毎年」、「一定時間ごと」の 6 種類があります。

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔
送信しない
毎時
毎日
毎月
毎年
一定時間ごと

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信間隔の選択肢

DMA-ESL の端末パラメータの編集 28

次に「送信間隔」の選択欄を「毎時」を選択した時の状態を示しています。「毎時」に設定したこと、1時間に1回、何分にヘルスチェックを送信できるようになります。ここでは、毎時「33」分に送信先メールアドレス1と2に電子メールの送信件名を「DMAESL ヘルスチェック」でヘルスチェックメールを送信する設定になっています。なお、送信件名は半角20文字分、全角10文字までに制限されています。

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔
毎時

33 分毎に送信する

送信件名
DMAESLヘルスチェック

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 29

次に「送信間隔」の選択欄を「毎年」を選択した時の状態を示しています。「毎年」に設定したこと、1年間に1回、何月、何日、何時、何分にヘルスチェックを送信できるようになります。ここでは、毎年、「2月3日9時33分」に送信先メールアドレス1、4、5、6に電子メールの送信件名を「DMA-ESL HC」でヘルスチェックメールを送信する設定になっています。

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔
毎年

02 月 03 日 09 時 33 分

送信件名
DMA-ESL HC

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 30

次に「送信間隔」の選択欄を「一定時間ごと」を選択した時の状態を示しています。「一定時間ごと」に設定することで、何時間何分間隔にヘルスチェックを送信できるようになります。ここでは、「9時間 33分毎」に送信先メールアドレス 1, 2, 10 に送信件名を「ヘルスチェック送信」でヘルスチェックメールを送信する設定になっています。

The screenshot shows the 'Health Check' configuration interface. Under the 'Interval' section, 'Every fixed time' is selected. The time is set to 09 hours and 33 minutes. The recipient list includes addresses 1, 2, and 10, with address 10 checked. The subject line is set to 'Health Check'. The recipient list at the bottom includes addresses 1 through 10, with 1, 2, and 10 checked.

ヘルスチェック

送信間隔

送信間隔
一定時間ごと

09 時間 33 分ごとに送信

送信件名
ヘルスチェック送信

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-ESL の端末パラメータの編集 31

7 DMA-T2X 端末情報、パラメータの編集

7.1 端末情報の編集

端末情報の編集方法について説明します。初期状態では、「端末情報を編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末情報を編集するためには、端末情報を編集する端末を1台選ぶことが必要になります。端末を選択した状態は次ページに示します。

なお、端末情報には、「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「端末のメールアドレス」、「設置場所」、「備考」の6項目が含まれます。編集可能な情報は、「設置場所」、「備考」の2つであり、残りの4項目は変更できません。

The screenshot shows a software interface titled 'MOS-B'. At the top, there is a blue button labeled '新規端末を登録' (Register New Device). Below it is a search bar with a magnifying glass icon and a placeholder '検索ワードを入力' (Enter search word), followed by a blue '検索' (Search) button. A red box highlights the '端末情報を編集' (Edit Device Information) button, which is located just above the main table. A black arrow points from a callout box labeled '「端末情報編集」ボタン' (Edit Device Information button) towards this red-highlighted button. The main table lists 10 device entries, each with a checkbox, product number, product name, phone number, status, location, and remarks. The first entry is DMA-T2X. At the bottom of the table, there is a page navigation bar with options for '1ページあたりの行数' (Number of rows per page) set to 10, '1-10 件目 / 33件' (Items 1-10 of 33), and arrows for navigating between pages.

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

1ページあたりの行数 : 10 < > 1-10 件目 / 33件

© 2020 HANERON CORPORATION

端末情報の編集 1

ここでは、端末一覧の1行目の製品番号「20H0090208011110090」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末情報を編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集ボタン

端末情報を編集 チェックボックス

製品番号	製品名	電話番号	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090	
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	080111120090	
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	080111130090	
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	080111110091	

端末情報の編集 2

次に「端末情報を編集」ボタンをクリックして表示される画面を示します。次に示しているように「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「メールアドレス」、「設置場所」、「備考」の6項目と右下に「キャンセル」と「保存」の2つのボタンがあります。ここで編集可能なのは、「設置場所」と「備考」の2項目です。

← 端末一覧に戻る

20H0090208011110090

製品番号: 20H0090208011110090
製品名: DMA-T2X
電話番号: 08011110090
メールアドレス: 20H0090208011110090@itg.mos-b.net
設置場所: 0/164
備考: 0 / 128

キャンセル 保存

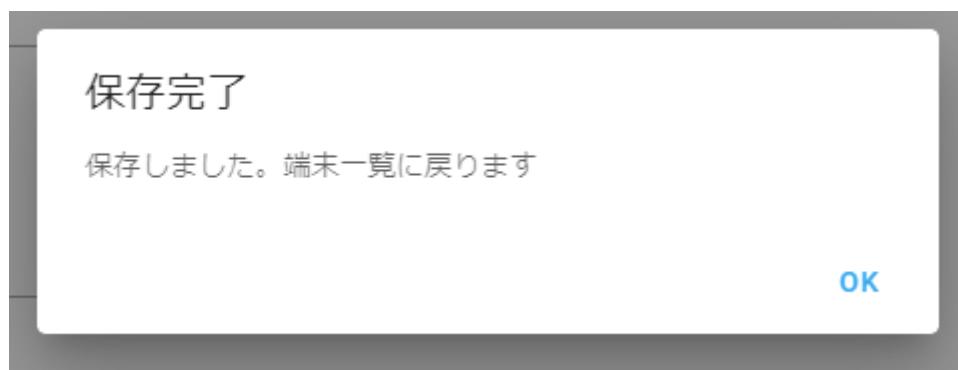
端末情報の編集 3

ここでは、「設置場所」に“第3倉庫2階3号室”、「備考」に“2020年8月24日設置”と入力しています。ここで右下にある「保存」をクリックします。



端末情報の編集 4

次に「保存」ボタンをクリックして保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで端末一覧画面に移動します。



端末情報の編集 5

次に保存完了画面で「OK」をクリックして表示される端末一覧画面を示します。編集した製品一覧の1行目の製品に入力した「設置場所」と「備考」が保存されていることを確認できます。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

端末情報の編集 5

なお、端末一覧の中の「ステータス」は端末が再起動中に「再起動中」が表示されます。画面の再読み込みで更新することができます。

7.2 パラメータの編集

7.2.1 概要

端末パラメータの編集方法について説明します。初期状態では、「端末パラメータを編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末パラメータを編集するためには、端末パラメータを編集する端末を1台選ぶことが必要で選択することにより端末パラメータの編集が可能になります。端末パラメータを編集する端末を選択した状態を次のページに示します。

なお、端末パラメータは、DMA-ESL、DMA-T2X、T-Scope4Dなどの製品によって異なります。

パラメータを編集する端末

DMA-T2X の端末パラメータの編集 1

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 22H0099X02017573070	DMA-T2X	02017573070		八尾南	小阪本郷3丁目

1ページあたりの行数 : 5 1-1 件目 / 1件 < >

ここでは、端末一覧の1行目の製品番号「22H0099X02017573070」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末パラメータを編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。

チェックボックス

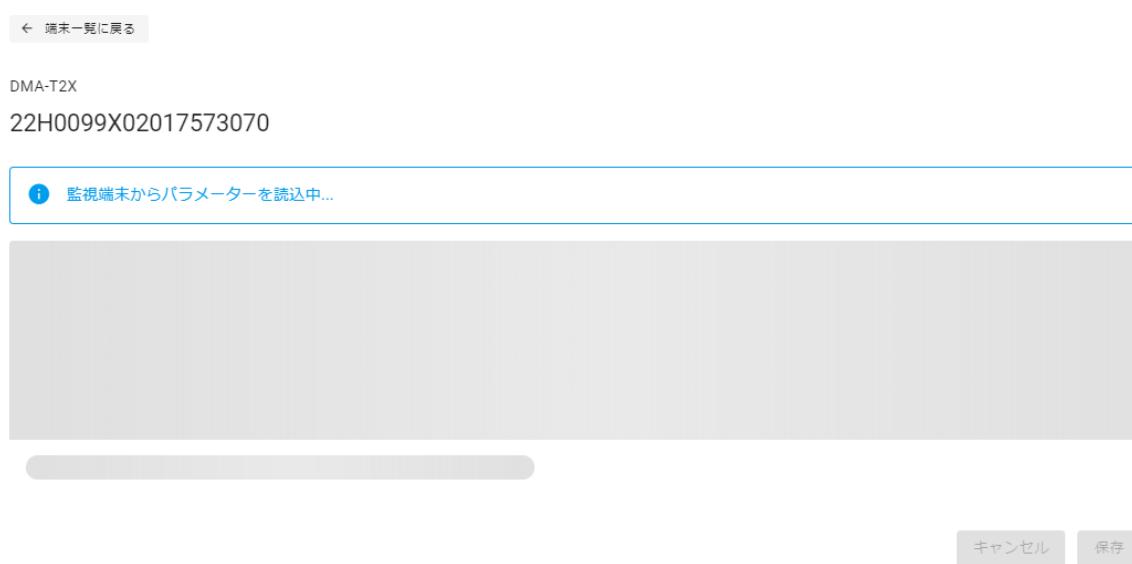
端末パラメータを編集ボタン

DMA-T2X の端末パラメータの編集 2

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 22H0099X02017573070	DMA-T2X	02017573070		八尾南	小阪本郷3丁目

1ページあたりの行数 : 5 1-1 件目 / 1件 < >

次に「端末パラメータを編集」ボタンをクリックして表示される画面を示しています。次図は、製品番号「22H0099X02017573070」の DMA-T2X からパラメータを読み込んでいる時の画面を示しています。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 3

次にパラメータを読み込んだ画面を示します。DMA-T2X のパラメータ編集画面の 1 部分が表示されています。画面をスクロールすることですべてのパラメータを確認することができます。また、画面上部にある「端末一覧に戻る」をクリックすることで「端末一覧」に戻ることができます。

DMA-T2X
22H0099X02017573070

送信先設定

送信先メールアドレス(2つ以上のメールアドレスを使用する場合は各番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1*
ha[REDACTED]n@yahoo.co.jp 26 / 54

送信先アドレス6*
[REDACTED]o@haneron.co.jp 24 / 54

送信先アドレス9*
[REDACTED]su@haneron.co.jp 23 / 54

本体設定

装置情報
000000

DMA-T2X の端末パラメータの編集 4

次に画面をスクロールしてページの一番下を示しています。ここで右下に「キャンセル」と「保存」ボタンがあることがわかります。パラメータを保存しないでこの画面を離れる場合は、「キャンセル」をクリックし、パラメータを保存する場合には「保存」をクリックします。これにより、編集したパラメータを保存することができます。

ただし、入力した値がフォーマットに合致していない場合は、「保存」ボタンがグレーで保存ができない状態なので正しい値を入力してください。

通知过多ロック設定

通知过多ロック

DI1 DI2 DI3 DI4 DI5 DI6 DI7 DI8 DI9 DI10 AI1 AI2 AI3 AI4

通知过多ロック解除

解除する 解除しない

自動的に解除を行う経過時間

経過時間(単位1時間)
24

経過時間(単位1分)
00

キャンセル 保存

DMA-T2X の端末パラメータの編集 5

「保存」をクリックすることで、保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで、画面が端末一覧の初期状態に戻り、パラメータ変更をおこなった該当端末がパラメータの書き込みとともに新しいパラメータを有効化するための「端末の再起動」をおこなっています。

「OK」をクリックすることで、端末一覧の初期状態に戻ります。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 6

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 22H0099X02017573070	DMA-T2X	02017573070		八尾南	小阪本郷3丁目

1ページあたりの行数 : 5 1-1 件目 / 1件 < >

DMA-T2X の端末パラメータの編集 7

このタイミングで、端末パラメータを編集した端末のパラメータ編集を実行すると次の画面が表示されます。このように端末は再起動中になりますので、再度編集するときは、再起動完了後にお願いします。いったん「キャンセル」をクリックして端末一覧に戻り再度お試しください。

MOS-B ユーザメニュー

22H0099X02017573070

! 監視端末が再起動中のためパラメーターが取得できません

キャンセル 保存

DMA-T2X の端末パラメータの編集 8

以下でパラメータ編集画面についての説明をします。

7.2.2 送信先メールアドレス

「送信先メールアドレス」の設定について説明します。次図は、送信先メールアドレスが1件も登録されていない状態です。そのために送信先の下に10個のチェックボックスが並んでいるだけです。送信先を設定するには登録したい送信先番号のチェックボックスにチェックを入れます。なお、送信先メールアドレス1は必修になっていますので、ここでは、送信先1にメールアドレスを入力しながら説明します。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 9

送信先1にメールアドレスを入力するために1番のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。1番目のチェックボックスにチェックを入れることにより、チェックボックスの下に、「送信先アドレス1」という入力欄が表示され「送信先アドレス1」が入力可能な状態になります。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1

0 / 54

DMA-T2X の端末パラメータの編集 10

次に「送信先アドレス1」の入力欄に入力している途中の状態を示します。入力した値がフォーマットに合致しない場合は枠が赤色になります。なお、入力中は「フォーマットが不正」という表示が出ますが、最後まで入力してください。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est

送信先アドレス1のフォーマットが不正です

4 / 54

DMA-T2X の端末パラメータの編集 11

「送信先アドレス 1」の入力欄への入力が完了した状態を示しています。枠が青色になっています。ここでは、フォーマットの確認をしているだけで、正しいメールアドレスが入力されていることを保証するものではありません。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

18 / 54

DMA-T2X の端末パラメータの編集 12

つづいて、「送信先アドレス 8」のチェックボックスにチェックを入れた状態を示します。このように、連続した番号でなくても入力することは可能です。下に「送信先アドレス 8」の記入欄が設けられていることが確認できます。

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

18 / 54

送信先アドレス8

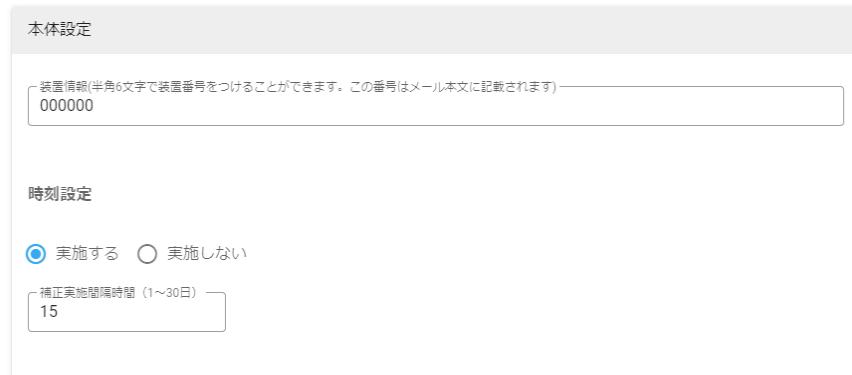
0 / 54

DMA-T2X の端末パラメータの編集 13

7.2.3 本体設定

「本体設定」のパラメータ設定について説明をします。本体設定では、装置番号の入力と時刻補正をするか否かを設定します。装置番号として、装置を識別するための番号として半角6文字まで入力できます。なお、装置番号は、メール本文に記載されます。

時刻設定では、時刻補正を「実施する」「実施しない」を選択することができます。「実施する」場合は、時刻補正をおこなう間隔を1日から30日（半角数字）で設定することができます。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 14

7.2.4 接点設定

「接点設定」のパラメータ編集について説明をします。接点設定では、DI1 から DI10 の 10 つのポート番号から選択して設定することができます。次図はポート番号が選択されていない状態を示しています。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 15

接点設定で、DI1 のポート番号を選択した場合を例にパラメータ編集の説明をします。DI1 のポート番号を選択することで接点 1 の設定項目が表示されます。

接点通報のメールの本文、「計測項目情報」を入力することができます。計測項目情報は、全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力できます。また、「他入力情報通信」という項目でメール送信時に他の情報を追加するかどうかを選択することができます。このあとの図で選択について説明します。

接点と判定するための判定時間を「ON 時」「OFF 時」について設定することができます。「判定時間」については、「ON 時」「OFF 時」共に 0.5 秒から 3600.0 秒（半角数字）までで設定することができます。

DMA-T2X の端末パラメータの編集 16

「他入力情報通信」という項目でメール送信時に他の情報を追加するかどうかを選択することができます。このあとの図で選択について説明します。

この接点情報だけを送信する場合は「該当入力のみ送信」を選択し、他の接点情報の送信する場合は「他の DI 情報も送信」を選択し、他のアナログ情報も送信する場合は、「他のアナログ入力情報も送信」を選択し、他の接点、アナログの入力情報も送信する場合は、「他の DI 情報・アナログ入力情報も送信」を選択することで送信の情報を選択することができます。

他入力情報通信（接点1の送信時に他の入力ポートの情報を0もしくは1で本文に付加します）

- 該当入力のみ送信
- 他のDI情報も送信
- 他のアナログ入力情報も送信
- 他のDI情報・アナログ入力情報も送信

DMA-T2X の端末パラメータの編集 17

「入力タイプ」で接点入力ポートを「接点入力」「パルスカウント入力」で選択して使用することができます。また、「入力タイプ」が「接点入力」の場合は、入力論理を「正論理」「負論理」を選択して使用することができます。

通報する条件として、「イベントの検出をしない」「ON 時に検出」「ON OFF 時両方に検出」の 3 つから選択することができます。

接点入力の通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。接点通報を送信する番号にチェックを入れてください。

入力タイプ

- 接点入力 パルスカウント入力

入力論理選択

- 正論理(a接) 負論理(b接)

条件

通報条件
ON OFF時両方に検出

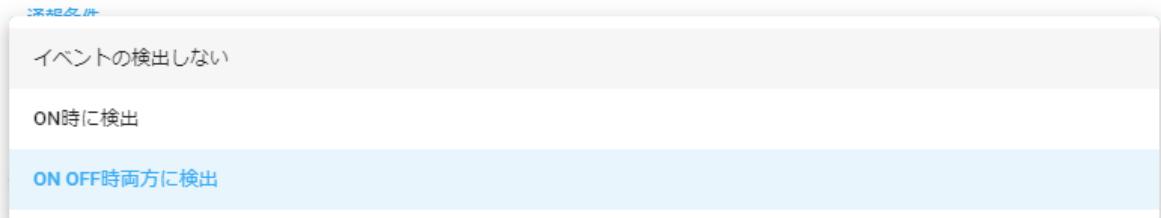
接点1の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 18

通報する条件部分をクリックすることで選択肢がすべて表示される次図の状態になり、「イベントの検出をしない」「ON 時に検出」「ON OFF 時両方に検出」の 3 つから通報する条件を選択することができます。

条件



DMA-T2X の端末パラメータの編集 19

接点通報のメールの内容として、「ON 時」と「OFF 時」に送信するメールに件名と本文を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

接点1通報メール内容

ON時件名
[211]SUBON1

ON時本文

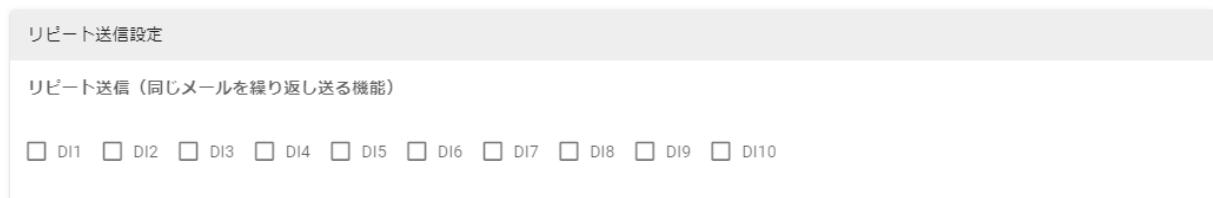
OFF時件名
[210]SUBOFF1

OFF時本文

DMA-T2X の端末パラメータの編集 20

7.2.5 リピート送信設定

「リピート送信設定」のパラメータ編集について説明をします。リピート送信は、同じメールを繰り返し送る機能です。リピート送信設定は、接点 DI1 から DI10 の 10 つのポート番号から選択してリピート送信を設定することができます。次図はどのポート番号も選択されていない状態を示しています。

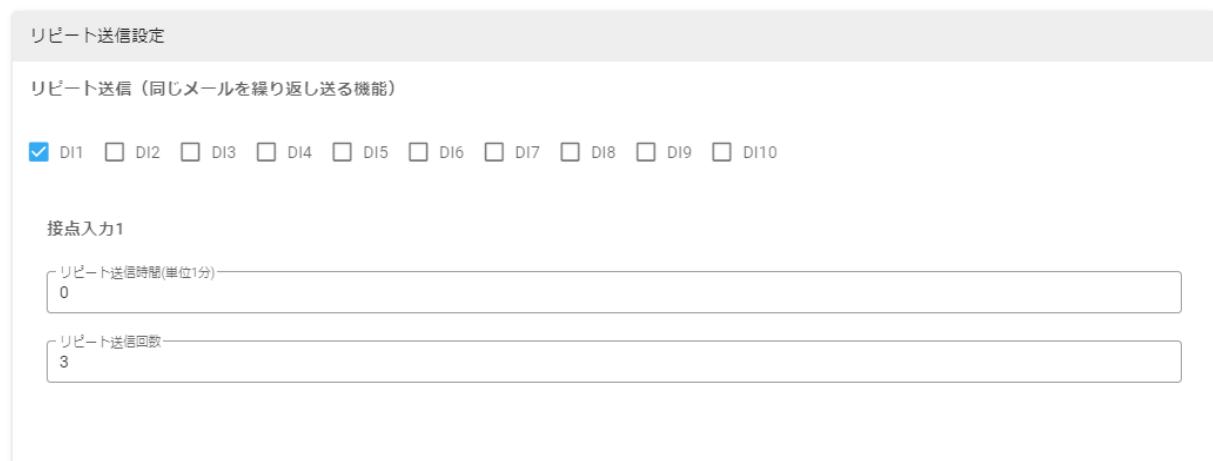


DMA-T2X の端末パラメータの編集 21

リピート送信設定で、DI1 のポート番号を選択した状態を例にパラメータ編集の説明をします。DI1 のポート番号を選択することで接点 1 の設定項目が表示されます。

リピート送信設定として、「リピート送信時間」「リピート送信回数」を設定することができます。

「リピート送信時間」は、3 から 99 (分:半角数字) で設定、「リピート送信回数」は、1 から 20 (回数:半角数字) で入力してください。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 22

7.2.6 アナログ入力設定のための補足説明

7.2.6.1 アナログ入力設定の設定値の関係

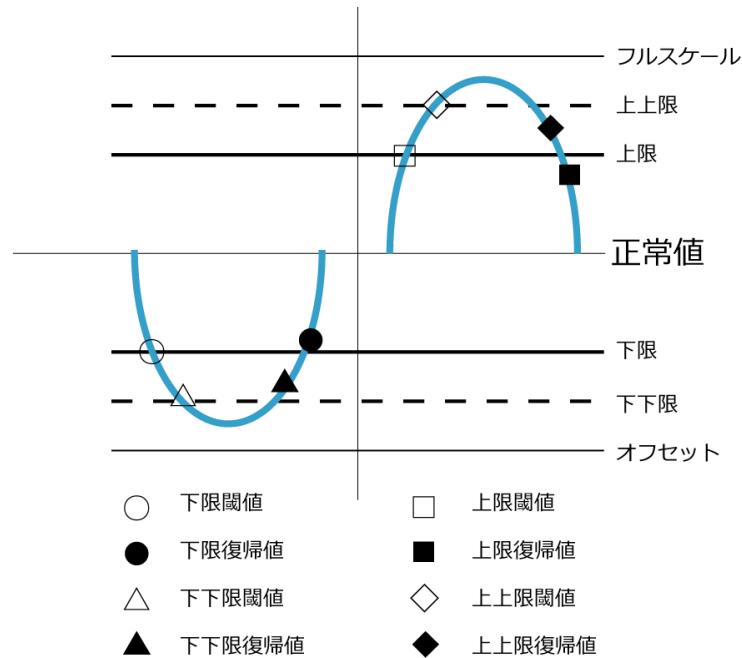
アナログ入力で通報を送信するための閾値、および、復帰値を設定するために必要な値の関係を示します。閾値の設定として、上限を2つまで、下限を2つまで設定することができます。ここで使用する用語について説明します。

アナログ値の閾値関係の概念図を次図に示します。データの範囲の最小値を「オフセット」、最大値を「フルスケール」と呼びます。この「オフセット」と「フルスケール」の間に閾値を設定することになります。閾値には、正常値より上側の閾値として上上限と上限の2つがあり、上上限は上限より大きい値の閾値になります。また、正常値より下側の閾値として下限と下下限の2つがあり、下下限は下限より小さい値の閾値になります。復帰値は、入力データが正常値から閾値を超えた後正常値戻ったと判断する値になります。

図の左側に正常値より下側の閾値の関係、右側に正常値より上側の閾値の関係を示しています。まず、下側の閾値について説明します。正常値から値が小さく変化して、下限になった○が下限閾値を示しています。また下限より小さい値から正常値に戻った●が下限復帰値を示しています。下限からさらに小さい値になり下下限になった△が下下限の閾値を示しています。下下限より小さくなかった値が大きくなり下下限より大きくなかった▲が下下限復帰値を示しています。

次に、画面右側の上側の閾値について説明します。正常値から値が大きく変化して、上限になった□が上限閾値を示しています。また上限より大きい値から正常値に戻った■が上限復帰値を示しています。上限からさらに値が大きくなり上上限になった◇が上上限の閾値を示しています。上上限より大きくなかった値が小さくなり上上限より小さくなかった◆が上上限復帰値になります。

上上限、上限の復帰値は、閾値と同じか小さくなり、下限、下下限の復帰値は、閾値と同じか大きくなります。



ここまでに説明したアナログ入力の閾値の関係が次の3つの関係式になります。

① 閾値間の関係

オフセット \leq 下下限閾値(LL) \leq 下限閾値(L) \leq 上限閾値(H) \leq 上上限閾値(HH) \leq フルスケール

② 復帰値間の関係

オフセット \leq 下下限復帰値(LL) \leq 下限復帰値(L) \leq 上限復帰値(H) \leq 上上限復帰値(HH) \leq フルスケール

③ 「上上限」「上限」「下限」「下下限」の閾値と復帰値の関係

上上限 閾値 HH	\geq	復帰値 HH
上限 閾値 H	\geq	復帰値 H
下限 閾値 L	\leq	復帰値 L
下下限 閾値 LL	\leq	復帰値 LL

入力した値が関係式に合わない場合は、入力欄の枠が赤色になります。ただし、上上限から入力を始めた場合、下下限を入力した段階で関係性の不整合が解消され赤色の枠が青色に変わることがあります。

7.2.6.2 上限、上上限、下限、下下限を設定する場合

7.2.7項「アナログ入力設定」で、正常値より上側に、上上限、上限の2つの閾値を、正常値より下側に下限、下下限の2つの閾値、合計で4つの閾値を設定する方法を説明します。

7.2.6.3 上限、下限だけを設定する場合

7.2.7項「アナログ入力設定」での説明がベースになりますが、正常値より上側に「上限」、正常値より下側に「下限」の2つの閾値を設定する方法について説明します。

「アナログ入力設定」の「オフセット」「フルスケール」「上上限」「上限」「下限」「下下限」の“閾値”と“復帰値”的すべての入力欄が上の項目で示した正しい関係にならないと設定値が保存できません。そのため「上限」「下限」だけを使用する場合でも「上上限」「下下限」の入力欄にも入力する必要があります。

以下に設定の方法を示します。

「上限」の閾値、復帰値として設定したい同じ値をそれぞれの「上上限」「上限」(上上限値=上限値)に入力します。また、「下限」と「下下限」についても同じく「下限」に閾値、復帰値として設定したい同じ値をそれぞれの「下限」「下下限」(下限値=下下限値)に入力します。加えて、「上上限」「下下限」の通報条件で「通報しない」を選択します。

この設定で、「上上限」「下下限」の通報は送信されず、「上限」「下限」の通報が送付されます。

7.2.7 アナログ入力設定

「アナログ入力設定」のパラメータ編集について説明をします。アナログ入力設定では、AI1 から AI4 の 4 つのポート番号から選択して設定をすることができます。次図はポート番号が選択されていない状態を示しています。

つぎに、ご注意という項目で前節「7.2.6.1 アナログ入力設定の設定値の関係」で説明した設定値の関係を示しています。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 24

ここでは、アナログ入力設定の例として CH1 のポート番号を選択した場合を例にパラメータ設定の説明をします。

アナログ入力のレンジを「0-20mA, 0-5V」「4-20mA, 1-5V」の 2 つから選択することができます。また、アナログ入力通報のメールの本文に、「計測項目情報」と「計測単位」を記載することができます。計測項目情報は、全角 8 文字（半角 16 文字）まで、計測単位は全角 3 文字（半角 6 文字）以内まで入力できます。

アナログ入力設定

アナログ入力（使用するポート番号をチェックしてください）

AI1 AI2 AI3 AI4

ご注意

アナログ入力通報における設定値の関係（以下の関係を満たす設定値を入力してください）

閾値
オフセット ≤ 下限閾値 ≤ 下限復帰値 ≤ 上限閾値 ≤ 上限復帰値 ≤ フルスケール

復帰値
オフセット ≤ 下限復帰値 ≤ 下限復帰値 ≤ 上限復帰値 ≤ 上限復帰値 ≤ フルスケール

閾値と復帰値
上上限 閾値 ≥ 復帰値
上限 閾値 ≥ 復帰値
下限 閾値 ≤ 復帰値
下下限 閾値 ≤ 復帰値

アナログ1

入力レンジ（電流と電圧の切り替えは端末のスイッチでおこなってください）

0-20mA,0-5V

計測項目情報（アナログ1の項目名を全角8文字以内でメール本文に記載します）

温度

計測単位（アナログ1の単位名を全角3文字以内でメール本文に記載します）

度

DMA-T2X の端末パラメータの編集 25

「他入力情報」は、アナログ入力のメール送信時に他の入力ポートの情報を 0 もしくは 1 でメール本文に付加をする機能で、このアナログ入力値を送信する際同時に送信する情報を選択することができます。

該当の接点情報だけを送信する場合は、「該当入力のみ送信」を選択し、他の接点情報を同時に送信する場合は「他の接点入力情報も送信」を選択し、他のアナログ入力情報も同時に送信する場合は「他のアナログ入力情報も送信」を選択し、他の接点情報、アナログ入力情報も同時に送信する場合は「他の接点入力情報・アナログ入力情報も送信」を選択してください。

他入力情報

該当入力のみ送信

他の接点入力情報も送信

他のアナログ入力情報も送信

他の接点入力情報・アナログ入力情報も送信

DMA-T2X の端末パラメータの編集 26

「判定時間」については、「異常検出」「異常復帰」について判定時間を設定することができます。判定時間は、0.0 秒から 3600.0 秒までで設定することができます。

判定時間

異常検出(単位1秒) —————

0

異常復帰(単位1秒) —————

0

DMA-T2X の端末パラメータの編集 27

アナログ入力の最小値と最大値を設定します。アナログ入力の最小値は、「オフセット」で設定し、最大値は「フルスケール」に入力します。

アナログ入力の通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。アナログ入力通報を送信する番号にチェックを入れてください。

オフセット（入力の最小値）

0

フルスケール（入力の最大値）

1023

送信先アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 28

上上限の項目として、上上限の「閾値」と「復帰値」を設定します。次に、通報条件を、「通報しない」「閾値を上回った時に通報」「復帰値を下回った時に通報」「閾値を上回った時、および、復帰値を下回った時に通報」の4つから選択してください。

上上限通報のメールの内容として、「閾値超え」と「復帰時」のそれぞれに送信するメールに「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

上上限
閾値 700
復帰値 700
通報条件 閾値を上回った時、および、復帰値を下回った時に通報
閾値超え件名 [117]SUBADHHON1
閾値超え通報本文メッセージ
復帰時件名 [118]SUBADHHOFF1
復帰時通報本文メッセージ

DMA-T2X の端末パラメータの編集 29

「通報条件」をクリックしたときに表示される選択肢を次に示します。通報したくない場合は「通報しない」を選択し、このアナログ入力値が閾値を超えた時だけ通報する場合は「閾値を上回った時に通報」を選択し、このアナログ入力値が復帰値を下回った時だけ通報する場合は「復帰値を下回った時に通報」を選択し、このアナログ入力値が閾値を超えた時と復帰値を下回った時の両方で通報する場合は「閾値を上回った時、および、復帰値を下回った時に通報」を選択してください。



DMA-T2X の端末パラメータの編集 30

上限の項目として、上限の「閾値」と「復帰値」を設定します。次に、通報条件を、「該当入力のみ通報」「閾値を上回った時に通報」「復帰値を下回った時に通報」「閾値を上回った時、および、復帰値を下回った時に通報」の4つから選択してください。

上限通報のメールの内容として、「閾値超え」と「復帰時」のそれぞれに送信するメールに「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

上限

閾値
600

復帰値
600

通報条件
閾値を上回った時、および、復帰値を下回った時に通報

閾値超え件名
[115]SUBADHON1

閾値超え通報本文メッセージ

復帰時件名
[116]SUBADHOFF1

復帰時通報本文メッセージ

DMA-T2X の端末パラメータの編集 31

下限の項目として、下限の「閾値」と「復帰値」を設定します。次に、通報条件を、「該当入力のみ通報」「閾値を下回った時に通報」「復帰値を上回った時に通報」「閾値を下回った時、および、復帰値を上回った時に通報」の4つから選択してください。

下限通報のメールの内容として、「閾値割り」と「復帰時」のそれぞれに送信するメールに「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

下限

閾値
400

復帰値
400

通報条件
閾値を下回った時、および、復帰値を上回った時に通報

閾値割り件名
[113]SUBADLON1

閾値割り通報本文メッセージ

復帰時件名
[114]SUBADLOFF1

復帰時通報本文メッセージ

DMA-T2X の端末パラメータの編集 32

下下限の項目として、下下限の「閾値」と「復帰値」を設定します。次に、通報条件を、「該当入力のみ通報」「閾値を下回った時に通報」「復帰値を上回った時に通報」「閾値を下回った時、および、復帰値を上回った時に通報」の4つから選択してください。

下下限通報のメールの内容として、「閾値割り」と「復帰時」のそれぞれに送信するメールに「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

下下限

閾値
300

復帰値
300

通報条件
閾値を下回った時、および、復帰値を上回った時に通報

閾値割り件名
[111]SUBADLLON1

閾値割り通報本文メッセージ

復帰時件名
[112]SUBADLLOFF1

復帰時通報本文メッセージ

DMA-T2X の端末パラメータの編集 33

7.2.8 通知过多ロック設定

通知过多ロック設定のパラメータ設定について説明します。通知过多ロックとは、チャタリング防止機能のことを示しており、指定した時間内に指定した入力回数を上回るとそれ以上の入力があってもメールを送信させない機能になります。

DI1~DI10, AI1~AI4のそれぞれのポートに通知过多ロックを設定することができます。ここに示しているポート番号にチェックをすることで設定ができます。次図では、DI1に通知过多ロックを設定するようにチェックマークが入っています

通知过多ロックの設定として、通知过多であると判断する「時間範囲」「入力回数」を設定することができます。「時間範囲」と「入力回数」についてどちらも 1~9までの半角数字で入力してください。

通知过多ロック設定

通知过多ロック（チャタリング防止機能：検出範囲時間内に検出カウント回数を上回ると送信されなくなります）

DI1 DI2 DI3 DI4 DI5 DI6 DI7 DI8 DI9 DI10 AI1
 AI2 AI3 AI4

接点入力1

時間範囲（単位1時間）
1

入力回数（単位1回）
0

DMA-T2X の端末パラメータの編集 34

また、通知过多ロック状態になった状態から自動的に解除をする「通知过多ロック自動解除」という設定があります。この「通知过多ロック自動解除」について、「解除する」、「解除しない」の 2 つから選択することができます。「解除しない」を選択した場合は、手動で通知过多ロック状態を解除していただくことになります。

「解除する」を選択した場合は、ロック後に自動的に解除するまでの時間を、「時間」と「分」の入力欄に解除までの時間を入力することで設定ができます。時間は、0 時間 10 分から 48 時間 00 分まで設定できます。

通知过多ロック自動解除

解除する 解除しない（手動で解除していただくことになります）

ロック後に自動的に解除するまでの時間

経過時間(単位1時間)
24

経過時間(単位1分)
00

DMA-T2X の端末パラメータの編集 35

7.2.9 停電通報設定

停電通報設定では、停電通報の設定と復電通報の設定をすることができます。ただし、復電通報の設定は停電通報を「通報する」を選択した時だけ設定することができます。

停電通報の設定として、“停電である”と判定する“時間”的設定をします。「停電判定時間」は、1.0秒から1000.0秒の間で設定することができます。

停電通報のメールの内容として、件名と本文の入力、および、送信先メールアドレスの選択をすることができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。

停電通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。停電通報を送信する番号にチェックを入れてください。

停電通報設定

停電通報

通報する 通報しない

停電判定時間
停電判定時間（単位=秒、小数点第一位まで）
1.0

停電通報メール内容
件名
[001]SUBPDW

本文
停電

停電通報の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 36

復電通報の設定として、「復電した」と判定する時間の設定をします。この「復電判定時間」は、1.0秒から1000.0秒の間で設定することができます。続いて、復電通報のメールの内容として、件名と本文、および、送信先メールアドレスの選択をすることができます。「件名」は、全角10文字（半角20文字）まで入力でき、「本文」は、全角32文字、半角64文字まで入力することができます。復電通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。復電通報を送信する番号にチェックを入れてください。なお、停電通報で「通報する」を設定していないと復電通報は通報できませんので注意してください。

復電通報

通報する 通報しない

復電判定時間

復電判定時間（単位=秒、小数点第一位まで）

1.0

復電通報メール内容

件名
[002]SUBPUP

本文
復電

復電通報の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 37

7.2.10 定期通報設定

定期通報として、定期通報 A と定期通報 B の 2 種類を設定することができます。設定項目は定期通報 A,B ともに共通部分が多いので定期通報 A で説明し、共通していない部分は定期通報 A の後に説明します。なお、定期通報 A は、現在入力値（送信時の入力値）を定期的に送信する機能で、定期通報 B は、入力値をログとして保存して保存したデータを定期的に送信する機能です。

「通報」について、「通報する」「通報しない」を設定することができます。「送信間隔」として「毎時」「毎日」「毎月」「毎年」「一定時間ごと」を選択することができます。

通報メールの内容として、「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

定期通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。定期通報を送信する番号にチェックを入れてください。

定期通報設定

定期通報A

通報する 通報しない

定期通報A送信間隔

送信間隔

定期通報Aメール内容

件名
[003]SUBTMA

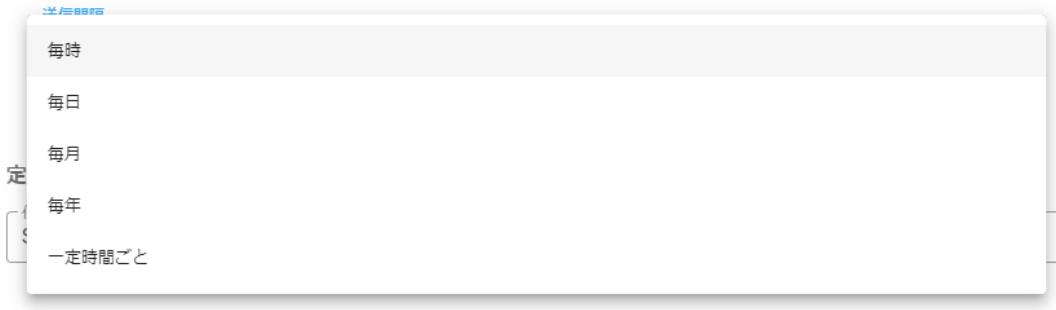
本文
Regular Report A

定期通報Aの送信先アドレス (送信するアドレス番号をチェックしてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定期通報の「送信間隔」を次に示します。このように「毎時」「毎日」「毎月」「毎年」「一定時間ごと」を選択することができます。

定期通報A送信間隔



DMA-T2X の端末パラメータの編集 39

次に「送信間隔」の選択欄を「毎年」を選択した時の状態を示しています。「毎年」に設定することで、1年間に1回、何月、何日、何時、何分に定期通報を送信するように設定することができます。また、「毎月」を選択した時には、「日」、「時」、「分」の入力欄が、「毎日」を選択した時に、「時」、「分」の入力欄が、「毎時」を選択した時に「分」の入力欄が表示されます。

定期通報A送信間隔



DMA-T2X の端末パラメータの編集 40

次に「送信間隔」の選択欄を「一定時間ごと」を選択した時の状態を示しています。「一定時間ごと」に設定することで、何時、何分毎に定期通報を送信するように設定することができます。

定期通報A送信間隔



DMA-T2X の端末パラメータの編集 41

定期通報 B の設定項目を次に示します。定期通報 A と同じ項目で同じ内容を設定することになります。ただし、定期通報 B は、メール内容が「件名」だけになり「本文」はありません。

定期通報B

- 通報する 通報しない

定期通報B送信間隔

送信間隔

定期通報Bメール内容

件名
[004]SUBTMB

定期通報Bの送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 42

定期通報 B は、入力値を保存したログを送信することができます。そのログを保存する設定ができます。「アナログ入力値ログ保存期間」という項目で、アナログ入力値を保存するか否かを「保存する」「保存しない」で設定することができます。

「保存する」を選択した場合は、保存する時間を 1~3600 秒で設定することができます。

アナログ入力値ログ保存間隔

- 保存する 保存しない

アナログ値ロギング間隔時間（1~3600秒）

0

DMA-T2X の端末パラメータの編集 43

7.2.11 テスト送信設定

テスト送信は、DMA-T2X の「TEST」ボタンを押すことでテストメールを送信する機能です。テスト送信の設定として、「設定する」「設定しない」を選択することができます。「設定する」を選択した場合は、テストメールの内容として、「件名」「本文」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

テストメールの送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。テストメールを送信する番号にチェックを入れてください。

テスト送信設定

テスト送信

設定する 設定しない

テストメール内容

件名 SUBSW

本文 テスト送信

テストメールの送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

DMA-T2X の端末パラメータの編集 44

8 T-Scope4D 端末情報、パラメータの編集

8.1 端末情報の編集

端末情報の編集方法について説明します。初期状態では、「端末情報を編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末情報を編集するためには、端末情報を編集する端末を1台選ぶことが必要になります。端末を選択した状態は次ページに示します。

なお、端末情報には、「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「端末のメールアドレス」、「設置場所」、「備考」の6項目が含まれます。編集可能な情報は、「設置場所」、「備考」の2つであり、残りの4項目は変更できません。

MOS-B

新規端末を登録

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090			
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

1ページあたりの行数： 10 < > 1-10 件目 / 33件

© 2020 HANERON CORPORATION

端末情報の編集 1

ここでは、端末一覧の 1 行目の製品番号「20H0090208011110090」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末情報を編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。

検索ワードを入力 検索

端末情報を編集ボタン

端末情報を編集 チェックボックス

製品番号	製品名	電話番号	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090	
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	080111120090	
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	080111130090	
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	080111110091	

端末情報の編集 2

次に「端末情報を編集」ボタンをクリックして表示される画面を示します。次に示しているように「製品番号」、「製品名」、「電話番号」、「メールアドレス」、「設置場所」、「備考」の 6 項目と右下に「キャンセル」と「保存」の 2 つのボタンがあります。ここで編集可能なのは、「設置場所」と「備考」の 2 項目です。

← 端末一覧に戻る

製品番号	20H0090208011110090
製品名	DMA-T2X
電話番号	08011110090
設置場所	0764
備考	0 / 128
メールアドレス	20H0090208011110090@itg.mos-b.net

キャンセル 保存

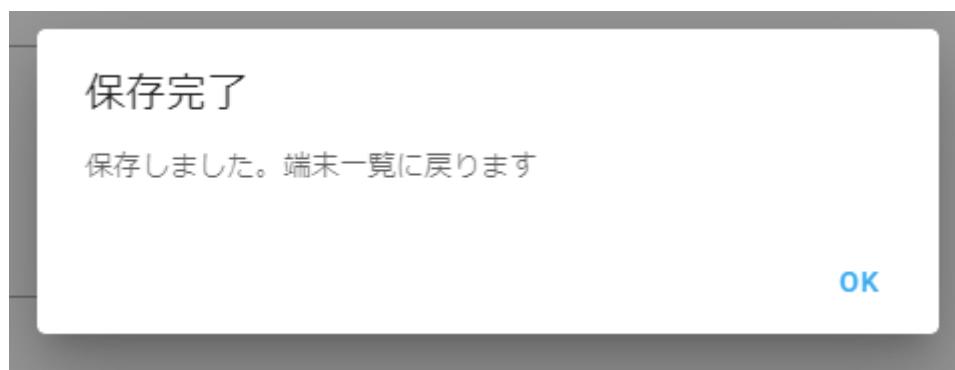
端末情報の編集 3

ここでは、「設置場所」に“第3倉庫2階3号室”、「備考」に“2020年8月24日設置”と入力しています。ここで右下にある「保存」をクリックします。



端末情報の編集 4

次に「保存」ボタンをクリックして保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで端末一覧画面に移動します。



端末情報の編集 5

次に保存完了画面で「OK」をクリックして表示される端末一覧画面を示します。編集した製品一覧の1行目の製品に入力した「設置場所」と「備考」が保存されていることを確認できます。

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
<input type="checkbox"/> 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
<input type="checkbox"/> 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
<input type="checkbox"/> 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
<input type="checkbox"/> 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
<input type="checkbox"/> 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
<input type="checkbox"/> 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
<input type="checkbox"/> 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
<input type="checkbox"/> 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
<input type="checkbox"/> 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

端末情報の編集 5

なお、端末一覧の中の「ステータス」は端末が再起動中に「再起動中」が表示されます。画面の再読み込みで更新することができます。

8.2 パラメータの編集

8.2.1 概要

端末パラメータの編集方法について説明します。初期状態では、「端末パラメータを編集」ボタンはグレー表示されており、クリックできない状態になっています。

端末パラメータを編集するためには、端末パラメータを編集する端末を1台選ぶことが必要で選択することにより端末パラメータの編集が可能になります。端末パラメータを編集する端末を選択した状態を次のページに示します。

なお、端末パラメータは、DMA-ESL、DMA-T2X、T-Scope4Dなどの製品によって異なります。

新規端末を登録

検索ワードを入力

検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input type="checkbox"/> 22H0099X02017573070	T-Scope4D	02017573070	八尾南	小阪本郷3丁目	

1ページあたりの行数 : 5 1-1件目 / 1件 < >

パラメータを編集する端末

T-Scope4D の端末パラメータの編集 1

ここでは、端末一覧の1行目の製品番号「22H0099X02017573070」を選択するために、製品番号左のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。チェックを入れることにより、「端末パラメータを編集」がグレーから青色に変わったことを確認することができます。

新規端末を登録

検索ワードを入力

検索

端末情報を編集 端末パラメータを編集

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 22H0099X02017573070	T-Scope4D	02017573070	八尾南	小阪本郷3丁目	

1ページあたりの行数 : 5 1-1件目 / 1件 < >

端末パラメータを編集ボタン

チェックボックス

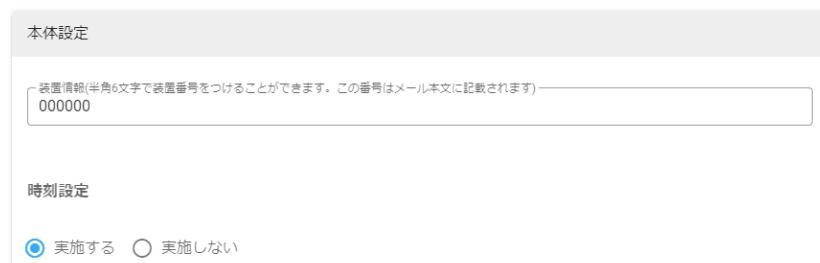
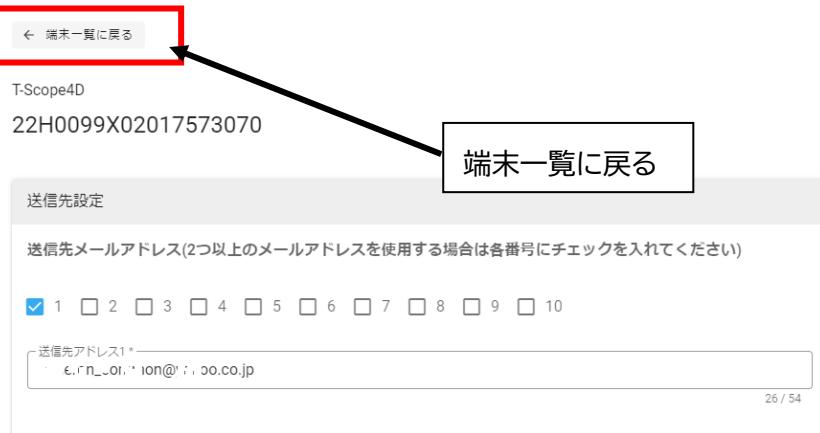
T-Scope4D の端末パラメータの編集 2

次に「端末パラメータを編集」ボタンをクリックして表示される画面を示しています。次図は、製品番号「22H0099X02017573070」の T-Scope4D からパラメータを読み込んでいる時の画面を示しています。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 3

次にパラメータを読み込んだ画面を示します。T-Scope4D のパラメータ編集画面の 1 部分が表示されています。画面をスクロールすることですべてのパラメータを確認することができます。また、画面上部にある「端末一覧に戻る」をクリックすることで「端末一覧」に戻ることができます。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 4

次に画面をスクロールしたページの一番下を示しています。ここで右下に「キャンセル」と「保存」ボタンがあることがわかります。パラメータを保存しないでこの画面を離れる場合は、「キャンセル」をクリックし、パラメータを保存する場合には「保存」をクリックします。これにより、編集したパラメータを保存することができます。

ただし、入力した値がフォーマットに合致していない場合は、「保存」ボタンがグレーで保存できない状態なので正しい値を入力してください。

計測項目情報 (漏電入力4の名称を全角8文字以内でメール本文に記載します)

計測単位 (全角3文字以内でメール本文に記載します)

他入力情報送信

該当入力のみ送信

キャンセル 保存

T-Scope4D の端末パラメータの編集 5

「保存」をクリックすることで、保存完了の画面が表示されます。この画面で「OK」をクリックすることで、画面が端末一覧の初期状態に戻り、パラメータ変更をおこなった該当端末がパラメータの書き込みとともに新しいパラメータを有効化するための「端末の再起動」をおこなっています。

「OK」をクリックすることで、端末一覧の初期状態に戻ります。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 6

The screenshot shows a user interface for device management. At the top left is a blue button labeled '新規端末を登録' (Register New Device). Below it is a search bar with a magnifying glass icon and the placeholder text '検索ワードを入力' (Enter search word). To the right of the search bar is a blue '検索' (Search) button. Underneath the search bar are two grey buttons: '端末情報を編集' (Edit Device Information) and '端末パラメータを編集' (Edit Device Parameters). The main area is a table listing devices. The columns are: 製品番号 (Product Number), 製品名 (Product Name), 電話番号 (Phone Number), ステータス (Status), 設置場所 (Installation Location), and 備考 (Remarks). A single row is visible, showing: 22H0099X02017573070, T-Scope4D, 02017573070, 八尾南, 小阪本郷3丁目. At the bottom of the table is a pagination control: '1ページあたりの行数' (Number of rows per page) set to 5, '1-1 件目 / 1件' (1-1 item / 1 item), and navigation arrows.

T-Scope4D の端末パラメータの編集 7

このタイミングで、端末パラメータを編集した端末のパラメータ編集を実行すると次の画面が表示されます。このように端末は再起動中になりますので、再度編集するときは、再起動完了後にお願いします。いったん「キャンセル」をクリックして端末一覧に戻り再度お試しください。

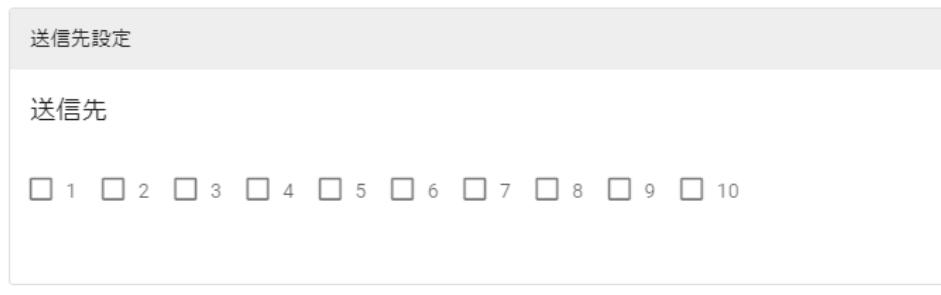
The screenshot shows a device configuration screen for T-Scope4D. The top bar indicates the session is 'MOS-B'. On the left is the device ID '22H0099X02017573070'. A prominent orange warning bar at the top states: '監視端末が再起動中のためパラメーターが取得できません' (The monitored device is in the process of rebooting, so parameters cannot be obtained). At the bottom right are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save).

T-Scope4D の端末パラメータの編集 8

以下でパラメータ編集画面についての説明をします。

8.2.2 送信先メールアドレス

「送信先メールアドレス」の設定について説明します。次図は、送信先メールアドレスが1件も登録されていない状態です。そのために送信先の下に10個のチェックボックスが並んでいるだけです。送信先を設定するには登録したい送信先番号のチェックボックスにチェックを入れます。なお、送信先メールアドレス1は“必修”になっていますので、ここでは、送信先1にメールアドレスを入力しながら説明します。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 9

送信先1にメールアドレスを入力するために1番のチェックボックスにチェックを入れた状態を次に示します。1番目のチェックボックスにチェックを入れることにより、チェックボックスの下に、「送信先アドレス1」という入力欄が表示され「送信先アドレス1」が入力可能な状態になります。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 10

次に「送信先アドレス1」の入力欄に入力している途中の状態を示します。入力した値がフォーマットに合致しない場合は枠が赤色になります。なお、入力中は「フォーマットが不正」という表示が出ますが、最後まで入力してください。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 11

「送信先アドレス 1」の入力欄への入力が完了した状態を示しています。枠が青色になっています。ここでは、フォーマットの確認をしているだけで、正しいメールアドレスが入力されていることを保証するものではありません。

送信先設定

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

18 / 54

T-Scope4D の端末パラメータの編集 12

つづいて、「送信先アドレス 8」のチェックボックスにチェックを入れた状態を示します。このように、連続した番号でなくても入力することは可能です。下に「送信先アドレス 8」の記入欄が設けられていることが確認できます。

送信先

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

送信先アドレス1
est@haneron.co.jp

送信先アドレス8

18 / 54

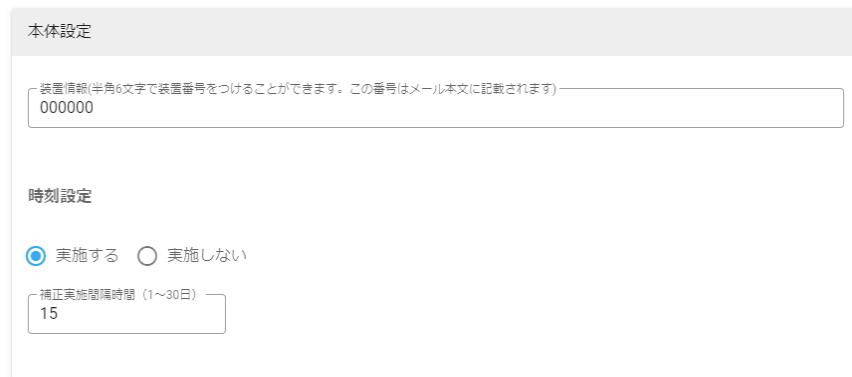
0 / 54

T-Scope4D の端末パラメータの編集 13

8.2.3 本体設定

「本体設定」のパラメータ設定について説明をします。本体設定では、装置番号の入力と時刻補正をするか否かを設定します。装置番号として、装置を識別するための番号として半角6文字まで入力できます。なお、装置番号はメール本文に記載されます。

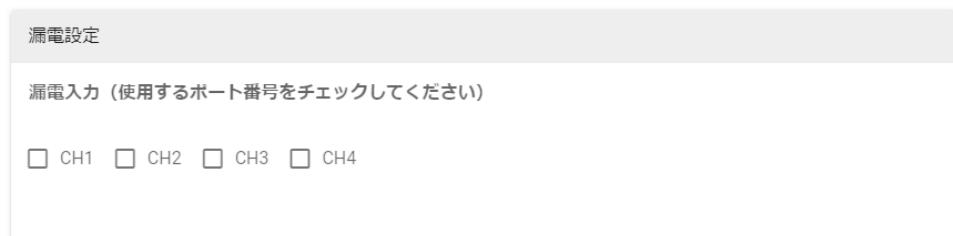
時刻設定では、時刻補正を「実施する」「実施しない」を選択することができます。「実施する」場合は、時刻補正をおこなう間隔を1日から30日（半角数字）で設定することができます。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 14

8.2.4 漏電設定

「漏電設定」のパラメータ編集について説明をします。漏電設定では、CH1 から CH4 の 4 つのポート番号から選択して設定することができます。次図はポート番号が選択されていない状態を示しています。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 15

次に、漏電設定では、CH1 のポート番号を選択した場合を例にパラメータ編集の説明をします。

漏電を判定するための「判定レベル」「判定時間」を設定することができます。判定レベルは、0 から 1023mA（半角数字）の間で設定することができます。「判定時間」については、「ON 時」「OFF 時」の判定時間を設定することができます。判定時間は、0.5 秒から 3600.0 秒（半角数字）まで設定することができます。また、漏電を検出する「送信トリガー」を選択することができます。

漏電入力1
判定レベル
(単位 = mA) 50
判定時間
ON時 (単位 = 秒、小数点第一位まで) 20
OFF時 (単位 = 秒、小数点第一位まで) 20
送信トリガー
検出時/復帰時 (ON/OFF時)

T-Scope4D の端末パラメータの編集 16

漏電を検出する「送信トリガー」を「検出する」「検出時（ON）」「検出時/復帰時（ON/OFF）」の3つから選択することができます。

送信トリガー

- 検出しない
- 検出時（ON時）
- 検出時/復帰時（ON/OFF時）

T-Scope4D の端末パラメータの編集 17

漏電通報のリピート送信について、「送信する」「送信しない」を設定することができます。「送信する」を選択した場合は、「リピート送信時間」を3から99（単位：分）で、「リピート送信回数」を1から20（単位：回）で入力して下さい。（両方とも半角数字）

リピート送信（同じメールを繰り返し送る機能）

- 送信する 送信しない

リピート送信時間(単位1分)
0

リピート送信回数
3

T-Scope4D の端末パラメータの編集 18

漏電入力の通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。漏電通報を送信する番号にチェックを入れてください。

漏電入力1の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 19

漏電通報のメールの内容として、「検出時」と「復帰時」に送信するメールに件名と本文を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

漏電入力1通報メール内容

検出時件名

CH 1 漏電

検出時本文

CH 1 漏電

復帰時件名

CH 1 漏電復旧

復帰時本文

CH 1 漏電復旧

T-Scope4D の端末パラメータの編集 20

漏電通報のメールの本文、「計測項目情報」と「計測単位」を入力することができます。計測項目情報は、全角 8 文字（半角 16 文字）まで、計測単位は全角 3 文字（半角 6 文字）以内まで入力できます。

また、同時にメールで送信する情報の有無を選択することができます。該当の漏電情報だけを送信する場合は、「該当入力のみ送信」を他の情報も同時に送信する場合は、「他の入力場も送信」を選択してください。

計測項目情報（漏電入力1の名称を全角8文字内でメール本文に記載します）

CH1

計測単位（全角3文字内でメール本文に記載します）

mA

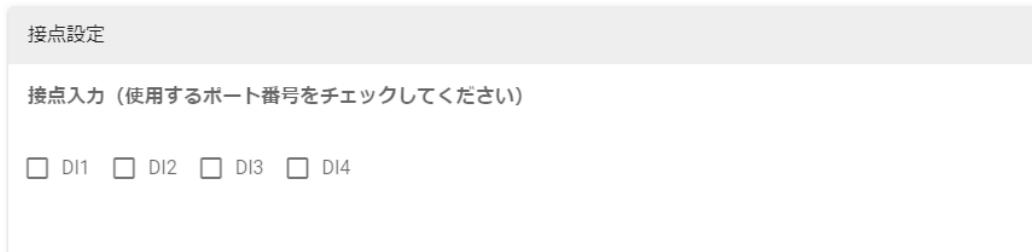
他入力情報送信

該当入力のみ送信

T-Scope4D の端末パラメータの編集 21

8.2.5 接点設定

「接点設定」のパラメータ編集について説明をします。接点設定では、DI1 から DI4 の 4 つのポート番号から選択して設定することができます。次図はポート番号が選択されていない状態を示しています。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 22

ここでは、接点設定の例として CH1 のポート番号を選択した場合を例にパラメータ設定の説明をします。

接点の入力の種類の“入力設定”の項目の「接点入力」「接点（高速）入力」「温度入力」から選択することができます。また、「接点入力」「接点（高速）入力」を選択した場合は、入力論理を「正論理」「負論理」で選択することができます。「判定時間」については、「ON 時」「OFF 時」の判定時間を設定することができます。判定時間は、0.5 秒から 3600.0 秒まで設定することができます。

ON 時 (単位=秒、小数点第一位まで)	20
OFF 時 (単位=秒、小数点第一位まで)	20

T-Scope4D の端末パラメータの編集 23

また、接点情報を送信するタイミングの「送信トリガー」を「検出する」「検出時(ON)」「検出時/復帰時(ON/OFF)」の3つから選択することができます。

リピート送信機能について、「送信する」「送信しない」を設定することができます。「送信する」を選択した場合は、「リピート送信時間」を3から99(単位:分)で、「リピート送信回数」を1から20(単位:回)で入力して下さい。(両方とも半角数字)

接点入力の通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。接点通報を送信する番号にチェックを入れてください。

送信トリガー

検出時/復帰時(ON/OFF時)

リピート送信(同じメールを繰り返し送る機能)

送信する 送信しない

リピート送信時間(単位1分)
0

リピート送信回数
3

接点1の送信先アドレス(送信するアドレス番号をチェックしてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4Dの端末パラメータの編集 24

接点通報のメールの内容として、「ON 時」と「OFF 時」のそれぞれに送信するメールに「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

また、接点通報のメールの本文に、「計測項目情報」と「計測単位」を記載することができます。計測項目情報は、全角 8 文字（半角 16 文字）まで、計測単位は全角 3 文字（半角 6 文字）以内まで入力できます。

「他入力情報通信」は、接点のメール送信時に他の入力ポートの情報を 0 もしくは 1 でメール本文に付加をする機能です。該当の接点情報だけを送信する場合は、「該当入力のみ送信」を他の情報も同時に送信する場合は、「他の入力情報も送信」を選択してください。

接点1通報メール内容

ON時件名

DC/温度 1 ONです

ON時本文

DC/温度 1 ONです

OFF時件名

DC/温度 1 OFFです

OFF時本文

DC/温度 1 OFFです

計測項目情報（接点1の名称を全角 8 文字でメール本文に記載します）

DC1

他入力情報通信（接点1の送信時に他の入力ポートの情報を0もしくは1で本文に付加します）

該当入力のみ送信

T-Scope4D の端末パラメータの編集 25

8.2.6 停電通報設定

停電通報設定では、停電通報の設定と復電通報の設定をすることができます。ただし、復電通報の設定は停電通報を「通報する」を選択した時だけ設定することができます。

停電通報の設定として、「停電である」と判定する時間の設定をします。「停電判定時間」は、0.5 秒から 100.0 秒の間で設定することができます。

停電通報のメールの内容として、「件名」と「本文」の入力、および、「送信先メールアドレス」の選択することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

停電通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。停電通報を送信する番号にチェックを入れてください。

停電通報設定

停電通報

通報する 通報しない

停電判定時間

停電判定時間（単位=秒、小数点第一位まで）
2

停電通報メール内容

件名
停電しました

本文
停電しました

停電通報の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 26

復電通報の設定として、「復電した」と判定する時間の設定をします。この「復電判定時間」は、0.5 秒から 100.0 秒の間で設定することができます。続いて、復電通報のメールの内容として、「件名」と「本文」、および、「送信先メールアドレス」の選択をすることができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

復電通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。復電通報を送信する番号にチェックを入れてください。

復電通報

通報する 通報しない

復電判定時間

復電判定時間（単位=秒、小数点第一位まで）

2

復電通報メール内容

件名
復電しました

本文
復電しました

復電通報の送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 27

8.2.7 定期通報設定

定期通報として、定期通報 A と定期通報 B の 2 種類を設定することができます。設定項目は定期通報 A,B ともに共通している部分のパラメータは定期通報 A で、定期通報 B だけの部分はその後に説明します。

「通報」について、「通報する」「通報しない」を設定することができます。「送信間隔」として「毎時」「毎日」「毎月」「毎年」「一定時間ごと」を選択することができます。

通報メールの内容として、「件名」と「本文」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

定期通報の送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。定期通報を送信する番号にチェックを入れてください。

定期通報設定

定期通報A

通報する 通報しない

定期通報A送信間隔

送信間隔

定期通報Aメール内容

件名
SUBTMA

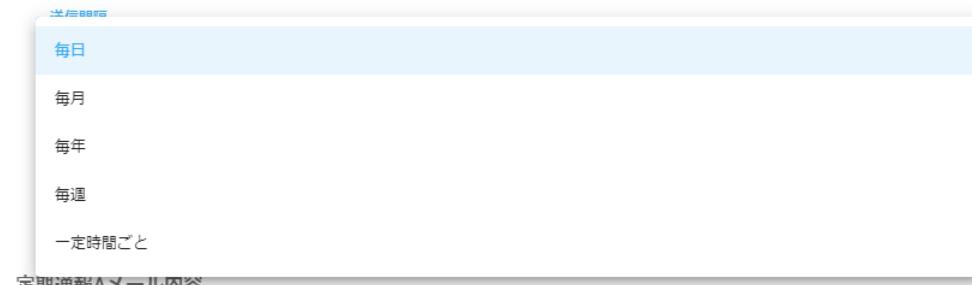
本文

定期通報Aの送信先アドレス (送信するアドレス番号をチェックしてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定期通報の「送信間隔」を次に示します。このように「毎日」「毎月」「毎年」「毎週」「一定時間ごと」を選択することができます。

定期通報A送信間隔



T-Scope4D の端末パラメータの編集 29

次に「送信間隔」の選択欄を「毎年」を選択した時の状態を示しています。「毎年」に設定することで、1年間に1回、何月、何日、何時、何分に定期通報を送信するように設定することができます。また、「毎月」を選択した時には、“日”、“時”、“分”的入力欄が、「毎日」を選択した時に、“時”、“分”的入力欄が、「毎週」を選択した時に“曜日”、“時”、“分”的入力欄が表示されます。

定期通報A送信間隔



T-Scope4D の端末パラメータの編集 30

次に「送信間隔」の選択欄を「一定時間ごと」を選択した時の状態を示しています。「一定時間ごと」に設定することで、何時、何分毎に定期通報を送信するように設定することができます。

定期通報A送信間隔



T-Scope4D の端末パラメータの編集 31

定期通報 B の設定項目を次に示します。定期通報 A と同じ項目で同じ内容を設定することになります。

定期通報B

通報する 通報しない

定期通報B送信間隔

送信間隔

定期通報Bメール内容

件名 SUBTMB

本文

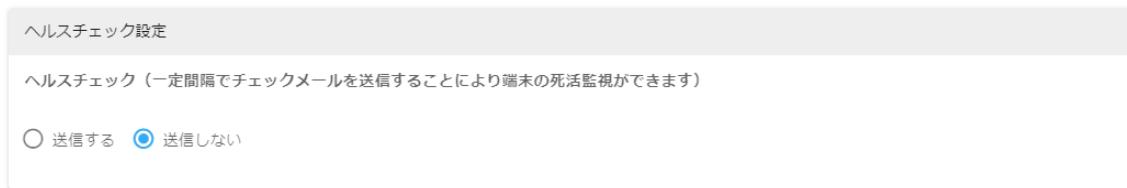
定期通報Bの送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 32

8.2.8 ヘルスチェック

ヘルスチェックのパラメータ設定について説明します。ヘルスチェックは、「送信する」「送信しない」から選択することができます。



T-Scope4D の端末パラメータの編集 33

ヘルスチェックを「送信する」を選択した場合には、ヘルスチェックメールを送信する「送信間隔」の設定とヘルスチェックメール内容として、「件名」を入力することができます。

「送信間隔」は、「時」と「分」の欄で分けて入力し、0 時間 10 分から 48 時間 00 分までの間で設定できます。

ヘルスチェックメールの内容として、「件名」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力することができます。

ヘルスチェックの送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。ヘルスチェックメールを送信する番号にチェックを入れてください。

ヘルスチェック設定

ヘルスチェック (一定間隔でチェックメールを送信することにより端末の死活監視ができます)

送信する 送信しない

送信間隔

時間(単位1時間) — 00

分(単位1分) — 00

ヘルスチェックメール内容 (本文は空欄になります)

件名 — ヘルスチェック

ヘルスチェックの送信先アドレス (送信するアドレス番号をチェックしてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 34

8.2.9 通知過多ロック設定

通知過多ロック設定のパラメータ設定について説明します。通知過多ロックとは、チャタリング防止機能のことをしており、指定した時間内に指定した入力回数を上回るとそれ以上の入力があってもメールを送信させない機能になります。

CH1~CH4、DI1~DI4 のそれぞれのポートに通知過多ロックを設定することができます。ここに示しているポート番号にチェックをすることで設定ができます。次図では、CH1 に通知過多ロックを設定するようにチェックマークが入っています

通知過多ロックの設定として、通知過多であると判断する「時間範囲」「入力回数」を設定することができます。「時間範囲」と「入力回数」についてどちらも 1~9までの半角数字で入力してください。

通知過多ロック設定

通知過多ロック（チャタリング防止機能：指定した時間内に指定した入力回数を上回るとそれ以上の入力があってもメールを送信させないことができます）

CH1 CH2 CH3 CH4 DI1 DI2 DI3 DI4

漏電入力1

時間範囲（単位1時間）

1

入力回数（単位1回）

0

T-Scope4D の端末パラメータの編集 35

また、通知過多ロック状態になった状態から自動的に解除をする「通知過多ロック自動解除」という設定があります。この「通知過多ロック自動解除」について、「解除する」、「解除しない」の2つから選択することができます。「解除しない」を選択した場合は、手動で通知過多ロック状態を解除していただくことになります。

「解除する」を選択した場合は、ロック後に自動的に解除するまでの時間を、「時間」と「分」の入力欄に解除までの時間を入力することで設定ができます。時間は、0 時間 10 分から 48 時間 00 分まで設定できます。

通知過多ロック自動解除

解除する 解除しない（手動で解除していただくことになります）

ロック後に自動的に解除するまでの時間

経過時間(単位1時間) _____
24

経過時間(単位1分) _____
00

T-Scope4D の端末パラメータの編集 36

8.2.10 テスト送信設定

テスト送信は、T-Scope4D の「テスト」ボタンを押すことでテストメールを送信する機能です。テスト送信の設定として、「設定する」「設定しない」を選択することができます。

「設定する」を選択した場合は、テストメールの内容として、「件名」「本文」を入力することができます。「件名」は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力でき、「本文」は、全角 32 文字、半角 64 文字まで入力することができます。

テストメールの送信先メールアドレスとして、「送信先設定」で登録したメールアドレスを選択することができます。テストメールを送信する番号にチェックを入れてください。

テスト送信設定

テスト送信

設定する 設定しない

テストメール内容

件名
SUBSW

本文
テスト送信

テストメールの送信先アドレス（送信するアドレス番号をチェックしてください）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

T-Scope4D の端末パラメータの編集 37

9 プロフィールの編集

プロフィールの編集方法について説明します。プロフィールは、初回ログイン時に入力(3.4 項)していただきましたお客様の情報になります。

プロフィールには、「ユーザ ID (メールアドレス)」、「会社名」、「部署名」、「ご担当者名」、「ご住所」、「電話番号」の 6 項目があります。

プロフィールを編集する画面に移動します。まず、画面右上の「ユーザメニュー」をクリックします。クリックによりメニューが表示されます。

The screenshot shows the MOS-B application interface. At the top right, there is a red box around the 'ユーザメニュー' (User Menu) button, which has an arrow pointing to it from below. Below the menu button is a white box labeled 'ユーザメニュー'. The main area displays a table of device information with columns: 製品番号 (Product Number), 製品名 (Product Name), 電話番号 (Phone Number), ステータス (Status), 設置場所 (Location), and 備考 (Remarks). The table contains 10 rows of data. At the bottom of the table, there are pagination controls: '1ページあたりの行数:' (Items per page:), a dropdown menu set to '10', '1-10 件目 / 33件' (Items 1-10 of 33), and navigation arrows. The footer of the page includes the copyright notice '© 2020 HANERON CORPORATION'.

製品番号	製品名	電話番号	ステータス	設置場所	備考
□ 20H0090208011110090	DMA-T2X	08011110090		第3倉庫2階3号室	2020年8月24日設置
□ 20H0090308011120090	T-Scope4D	08011120090			
□ 20H0090408011130090	DMA-ESL	08011130090			
□ 20H0091208011110091	DMA-T2X	08011110091			
□ 20H0091308011120091	T-Scope4D	08011120091			
□ 20H0091408011130091	DMA-ESL	08011130091			
□ 20H0092208011110092	DMA-T2X	08011110092			
□ 20H0092308011120092	T-Scope4D	08011120092			
□ 20H0092408011130092	DMA-ESL	08011130092			
□ 20H0093208011110093	DMA-T2X	08011110093			

プロフィールの編集 1

「ユーザメニュー」をクリックすることでメニューが表示されます。この中の「プロフィール編集」をクリックします。

The screenshot shows the MOS-B application interface. At the top right, there is a user menu with options: 'est@haneron.co.jp', 'プロフィール編集' (Profile Edit), and 'ログアウト' (Logout). A red box highlights this menu area, and an arrow points from it to a callout box labeled 'プロフィール編集' (Profile Edit). Another callout box labeled 'ユーザメニューをクリック時に表示' (Displayed when clicking the User Menu) also points to this area. Below the menu is a table listing various devices with columns for Product ID, Name, Phone Number, Status, Location, and Notes. At the bottom left, it says '© 2020 HANERON CORPORATION'.

プロフィールの編集 2

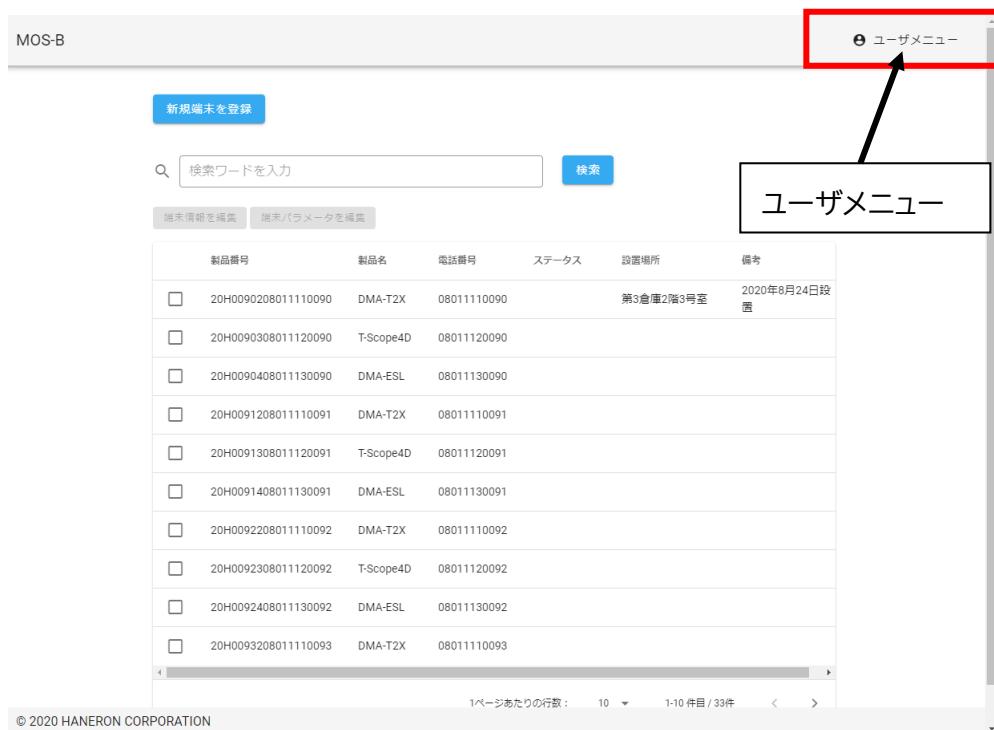
「プロフィール編集」をクリックすることでプロフィール画面が表示されます。この中の「会社名」、「部署名」、「ご担当者名」、「ご住所」、「電話番号」を編集することができます。編集終了後に「保存」をクリックすることで編集内容が保存されます。

The screenshot shows the 'User Profile Edit' form. It includes fields for 'User ID (メールアドレス)': est@haneron.co.jp, '会社名': haneron, '部署名': etc, 'ご担当者名': test, 'ご住所': 2-22 ohta yao osaka japan, and '電話番号': 0729481117. There are 'Cancel' and 'Save' buttons at the bottom. The top right corner shows a 'User Menu' icon.

プロフィールの編集 3

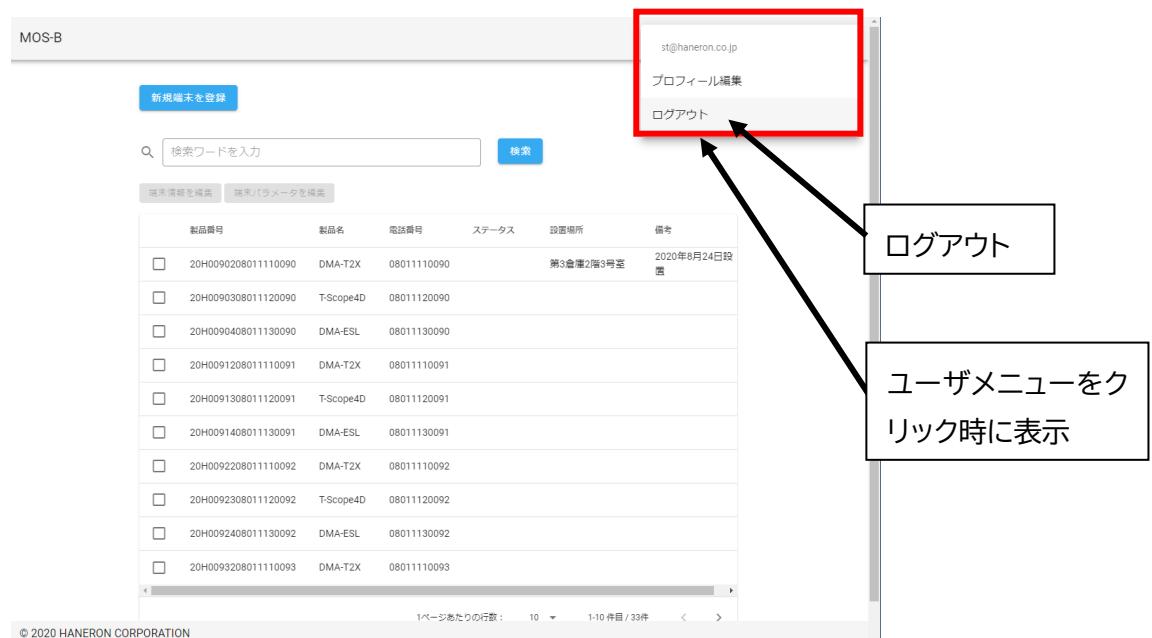
10 ログアウト

ログアウトの方法について説明します。ログアウトするためには、画面右上の「ユーザメニュー」をクリックします。クリックによりメニューが表示されます。



ログアウト 1

「ユーザメニュー」をクリックすることでメニューが表示されます。この中の「プロファイル編集」をクリックします。



ログアウト 2

「ログアウト」をクリックすることで画面がログイン画面に移動します。これでログアウトは終了です。

なお、ログアウトをしない場合でも 7 日間すぎると次回読み込み時に自動的にログアウトして、ログイン画面が表示されます。

MOS-B

ログイン

メールアドレス*

メールアドレスを入力

パスワード*

パスワードを入力

パスワードをお忘れですか？再発行は[こちら](#)

[ログイン](#)

- 英語のエラーメッセージが表示された場合は入力したメールアドレスにスペース（空白）が含まれていないか確認して再度お試しください。
- メールアドレスを入力しているにも関わらず「メールアドレスを入力してください」とエラーが表示される場合はメールアドレスをコピー&ペーストではなく直接入力して再度お試しください。

© 2020 HANERON CORPORATION

ログアウト 3

11 パスワードの再発行

MOS-B のログイン画面に移動し、ログイン画面のパスワードの下にある“パスワードをお忘れですか？”の右側にある「再発行はこちら」をクリックします。



ログイン画面

パスワードをリセットするため画面が表示される。メールアドレスの入力と「リセットコードを送信」をクリックします。



パスワードリセット 1

次には、メールアドレス記入欄に登録しているメールアドレスを入力した状態を示しています。この状態で、下にある「リセットコードを送信」ボタンをクリックします。なお、パスワードには、8文字以上で、英大文字、英小文字、数字が含まれることが必要になります。

MOS-B

パスワードをリセット

メールアドレス *

@haneron.co.jp

ログインに戻る リセットコードを送信

パスワードは以下の条件を満たす必要があります

- 8文字以上
- 英大文字を含む
- 英小文字を含む
- 数字を含む

リセットコードを送信ボタン

リセットコードを送信ボタンをクリックしてもメールが届かない場合はメールアドレスをコピー&ペーストではなく直接入力して再度お試しください

パスワードリセット 2

リセットコードを送信すると次の画面に遷移します。この画面では、メールアドレス、リセットコード、新しいパスワードを入力し、「送信」ボタンをクリックします。ここで、リセットコードを入力する必要があります。リセットコードは、これは前項で「リセットコード送信ボタン」をクリックすることでメールアドレス宛にメールが送信されているので、受信メールから該当のメールを探して、そのメールに記載されたリセットコードを入力します。受信メールの例は、続いて示します。

MOS-B

パスワードをリセット

メールアドレス *

@haneron.co.jp

リセットコード *

新しいパスワード *

リセットコードを再送信 送信

パスワードは以下の条件を満たす必要があります

- 8文字以上
- 英大文字を含む
- 英小文字を含む
- 数字を含む

パスワードリセット3

次に、受信メールの例を示します。このメールにリセットコードが記載されていますのでこのコードを前の画面にリセットコード入力欄に入力します。このメールでのリセットコードは、“296080”です。なお、パスワードリセットコードの 有効期限は 1 時間 です。また コードが使用される か 新しいコードが発行 された場合も無効になります。

MOS-B パスワードリセットコード発行のお知らせ 受信トレイ ×

no-reply@itg.mos-b.net 17:24 (0 分前) ·

To:

リセットコードは 296080 です。
パスワードリセットページにリセットコードと新しいパスワードを入力してパスワードをリセットしてください。

本メールアドレスは配信専用です。このメッセージに返信しないようお願いいたします。
このメールの内容についてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

MOS-B (モスピー)
サービス運営 株式会社ハネロン
電話番号 : 072-948-1155
メールアドレス : verservice@haneron.co.jp

返信 全員に返信 転送

パスワードリセット 4

ここで、メールアドレス、メールに記載されていた“リセットコード”的「296080」、新しいパスワードを入力します。パスワードは、8文字以上で、英大文字、英小文字、数字が含まれることが必要になります。この状態で送信ボタンをクリックします。

これで、パスワードの再設定は終了になります。再設定したパスワードでログインすることになります。画面はログイン画面に遷移します。

パスワードリセット5

ログイン画面に戻りますので、メールアドレスと再設定したパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックすることでログインできます。

パスワードリセット 6

なお、リセットコードを間違えた場合には、次のような画面が表示されます。送信ボタンの下に赤字でエラー表示がされますので、リセットコードを確認して再度入力してください。なお、パスワードが条件を満たさない場合もここにエラー表示がされますのでその条件に対応したパスワードを入力してください。

MOS-B

The screenshot shows a password reset form with three fields: 'メールアドレス *' containing '@haneron.co.jp', 'リセットコード *' containing '47038311', and '新しいパスワード *' containing '.....'. Below the form are two buttons: 'リセットコードを再送信' and '送信'. A red box highlights the error message '無効なリセットコードです。リセットコードを確認して再度お試しください' (Invalid reset code. Please check the reset code and try again). An arrow points from a box labeled 'エラー表示' (Error display) to this message. At the bottom, there's a note about password requirements and a note about sending the code again if it's not received.

パスワードをリセット

メールアドレス *

@haneron.co.jp

リセットコード *

47038311

新しいパスワード *

.....

リセットコードを再送信 送信

無効なリセットコードです。リセットコードを確認して再度お試しください

パスワードは以下の条件を満たす必要があります

- 8文字以上
- 英大文字を含む
- 英小文字を含む
- 数字を含む

* リセットコードを送信ボタンをクリックしてもメールが届かない場合はメールアドレスをコピー&ペーストではなく直接入力して再度お試しください。

© 2020 HANERON CORPORATION

パスワードリセット 7

以上でパスワードの再設定は完了です。ログインして MOS-B をご使用ください。